

# FUJITSU Server PRIMERGY オプション製品

## システム構成図 (留意事項編)

本文中のOS名称は、次のように略して表記します。

OS名	略称		
Windows Server® 2019 Standard	WS19S	Windows	
Windows Server® 2019 Datacenter	WS19D		
Windows Server® 2019 Essentials	WS19E		
Windows Server® IoT 2019 for Storage Standard	WSI19SS		
Windows Server® 2016 Standard	WS16S		
Windows Server® 2016 Datacenter	WS16D		
Windows Server® 2016 Essentials	WS16E		
Windows® Storage Server 2016 Standard	WSS16S		
Windows Server® 2012 R2 Standard	WS12RS		
Windows Server® 2012 R2 Datacenter	WS12RD		
Windows Server® 2012 R2 Foundation	WS12RF		
Windows Server® 2012 R2 Essentials	WS12RE		
Windows® Storage Server 2012 R2 Standard	WSS12RS		
Windows Server® 2012 Standard	WS12S		
Windows Server® 2012 Datacenter	WS12D		
Windows Server® 2012 Foundation	WS12F		
Windows Server® 2012 Essentials	WS12E		
Windows® Small Business Server 2011 Essentials	SBS11E		
Windows Server® 2008 R2 Standard	WS08RS		
Windows Server® 2008 R2 Enterprise	WS08RE		
Windows Server® 2008 R2 Datacenter	WS08RD		
Windows Server® 2008 R2 Foundation	WS08RF		
Windows Server® 2008 Standard (64-bit)	WS08S-64		
Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)	WS08E-64		
Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	WS08D-64		
Windows Server® 2008 Foundation (64-bit)	WS08F-64		
Windows Server® 2008 Standard (32-bit)	WS08S-32		
Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)	WS08E-32		
Windows® Web Server 2008 R2	WS08RW		
Windows® Web Server 2008 (64-bit)	WS08W-64		
Windows® Web Server 2008 (32-bit)	WS08W-32		
Windows® HPC Server 2008 R2	WS08RH		
Windows Server® 2008 HPC Edition (32-bit)	WS08H-32		
Windows® Small Business Server 2008 Standard	SBS08S		
Windows® Small Business Server 2008 Premium	SBS08P		
Windows® 10 Home (32-bit/64-bit)	W10H		
Windows® 10 Pro (32-bit/64-bit)	W10P		
Windows® 10 Enterprise (32-bit/64-bit)	W10EN		
Windows® 10 Education (32-bit/64-bit)	W10ED		
Windows® 8.1 (32-bit/64-bit)	W8.1		
Windows® 8.1 Pro (32-bit/64-bit)	W8.1P		
Windows® 8.1 Enterprise (32-bit/64-bit)	W8.1E		
Windows® 8 (32-bit/64-bit)	W8		
Windows® 8 Pro (32-bit/64-bit)	W8P		
Windows® 8 Enterprise (32-bit/64-bit)	W8E		
Windows® 7 Home Premium	W7HP		
Windows® 7 Professional/ Enterprise/ Ultimate	W7P/E/U		
Windows Vista® Home Basic/ Home Premium	WVHB/HP		
Windows Vista® Business	WVB		
Windows Vista® Enterprise	WVE		
Windows Vista® Ultimate	WVU		
Windows® XP Professional x64 Edition	WXPPx64		
Windows® XP Professional	WXPP		
Red Hat® Enterprise Linux® 8 (for Intel64)	RHEL8(Intel64)	Linux	
Red Hat® Enterprise Linux® 7 (for Intel64)	RHEL7(Intel64)		
Red Hat® Enterprise Linux® 6 (for Intel64)	RHEL6(Intel64)		
Red Hat® Enterprise Linux® 6 (for x86)	RHEL6(x86)		
Red Hat® Enterprise Linux® 5 (for Intel64)	RHEL5(Intel64)		
Red Hat® Enterprise Linux® 5 (for x86)	RHEL5(x86)		
Red Hat® Enterprise Linux® ES/AS (v.4 for x86/v.4 for EM64T)	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)		
Red Hat® Enterprise Linux® ES/AS (v.3 for x86)	RHEL ES/AS3(x86)		
SUSE® Linux Enterprise Server 15 for AMD64 & Intel64	SLES 15 (x86 64)		SLES
SUSE® Linux Enterprise Server 12 for AMD64 & Intel64	SLES 12 (x86 64)		
SUSE® Linux Enterprise Server 11 for AMD64 & Intel64	SLES 11 (x86 64)		
VMware vSphere® 6 (VMware vSphere ESXi 6.7)	vS6.7	VMware	
VMware vSphere® 6 (VMware vSphere ESXi 6.5)	vS6.5		
VMware vSphere® 6 (VMware vSphere ESXi 6.0)	vS6.0		

## サーバ監視・管理ソフトウェアについて

PRIMERGYのサーバ監視・管理には、標準添付のServerView Suite DVDに収められているServerView Operations ManagerやServerView System Monitorをご使用になれます。また、リモートマネジメントコントローラ(iRMC S5)やInfrastructure Manager(ISM)を使用して行うこともできます。

以下の各サーバ監視ソフトウェアの特徴をご確認いただき、適切なサーバ監視を選択してください。

## [サーバ監視ソフトウェアの種類]

監視ソフトウェア	ServerView Operations Manager [SVOM]	リモートマネジメントコントローラ Webインターフェース [iRMC WebUI] (*1)	ServerView System Monitor [SVSM] (*2)	Infrastructure Manager [ISM] (*3)	
特徴	・物理マシンも仮想マシンも一緒に管理 ・サーバのリソースも監視可能	・OS上に監視ツールをインストールせず監視可能 ・使用するOSに依存しない ・管理サーバを用意する必要なし ・装置が電源OFFのときも管理可能	・装置にリモートマネジメントコントローラが搭載されていない、または、ネットワークに接続していても監視可能 ・管理サーバを用意する必要なし	・運用監視を自動化 ・他社装置、ネットワークも管理 ・大規模管理ソフトウェアと連携可能 ・仮想アプライアンスとして提供	
構成	管理可能装置数	1~1000台 (*4)	1台	1台	2~1000台
	監視対象 (情報取得先) (*5)	ServerView Agents / ServerView ESXi CIM Provider / iRMC S5	iRMC S5	ServerView Agents	iRMC S5
	ストレージ監視	ServerView RAID Manager ServerView Storage Manager	監視対応アレイコントローラ (*6)	ServerView RAID Manager	監視対応アレイコントローラ (*6)
環境	監視ソフトのインストール先	Windows Server / RedHat Enterprise Linux (ゲストOS上でも可)	必要なし	必要なし	仮想ホスト (仮想アプライアンスとして提供)
	使用するネットワーク (*7)	Agents / CIM Provider : 業務ネットワーク iRMC S5 : 管理ネットワーク	管理ネットワーク	業務ネットワーク	業務ネットワーク 管理ネットワーク
	監視対象に必要なソフトウェア (*8)	ServerView Agents ServerView ESXi CIM Provider	必要なし	ServerView Agents	必要なし
	推奨環境	・監視対象が1台~数十台 ・管理用の装置を用意できる ・仮想マシンも一括して管理したい	・複数台を管理する必要がない ・OS上に余分なソフトウェアを入れたくない ・ネットワークを監視と業務で分離したい ・ハードの状態監視ができればよい	・複数台の監視をする必要がない ・リモート通報サービスが必要としない ・リモート管理を行わない ・ハードの状態監視ができればよい	・監視対象が数台~数百台規模 ・サーバ以外のリソースも管理したい ・運用管理コストを削減したい ・大規模管理ソフトウェアを導入している ・仮想化ソフトウェアを使用している

(\*1) PRIMERGY TX1310 Mx 等のiRMC S5を搭載していない装置ではお使いいただけません。

(\*2) System MonitorはServerView Agentsの機能の一部です。ServerView Agents をインストールするとSystem Monitorもインストールされます。

(\*3) Infrastructure Manager については、以下をご確認ください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/>

(\*4) Windows OS上でデータベースとしてMicrosoft SQL Serverを使用します。SVOMに同梱されるExpressバージョンを使用した場合、200台程度までとなります。

(\*5) それぞれの監視対象の詳細については、後述の「監視対象サーバ用エージェントソフトウェアの種類」をご確認ください。

(\*6) 使用可能な構成および留意事項は、「iRMC(リモートマネジメントコントローラ)関連」をご覧ください。

(\*7) ネットワークの種類は以下の2種類です。どちらも同じネットワークとして使用することもできます。

業務ネットワーク: 通常の業務で使用され、動作しているOSにアクセスできるネットワークです。

管理ネットワーク: 管理専用で使用されるネットワークです。PRIMERGYの場合、リモートマネジメントコントローラと接続されるネットワークです。

(\*8) このほか、監視ソフトウェア自身または一部機能を使用するために、OSの機能や追加パッケージを必要とする場合があります。詳細は各ソフトウェアのマニュアルをご確認ください。

・各監視ソフトウェアで監視可能な項目につきましては、下記に掲載の「ServerView Operations Manager サーバ監視ご紹介」をご確認ください。

## ■ 当社ホームページ:

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/pdf/svs/svom-server.pdf>

・リモートマネジメントコントローラ[iRMC S5]によるサーバ監視・管理の設定方法につきましては、下記に掲載の「マニュアル」をご確認ください。

## ■ 当社ホームページ:

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/> →

「ServerView Suite のマニュアル」→「MANUALS」→「x86 Servers」→「Software」→「ServerView Suite」→「Out-Of-Band Management」

## [監視対象サーバ用エージェントソフトウェアの種類]

## ■ ServerView Agents

対応OS:

Windows/Linux/XenServer

概要:

ハードウェアと通信を行い、本体装置の状態監視や各種データの取得やロギング、異常通知を行います。

また、ServerView Operations Managerより指示される、シャットダウンやイベント等に関するさまざまな設定も、このサーバ監視プログラムで行います。

ServerView Agentsに含まれるSystem Monitorを使用して、ServerView Agentsがインストールされている装置の状態表示を行うことができます。

## ■ ServerView ESXi CIM Provider

対応OS:

VMware ESXi 6.x

概要:

VMware ESXi ホスト上で動作し、ハードウェアと通信を行い、本体装置の状態監視や各種データの取得やロギング、異常通知を行います。

また、ServerView Operations Managerより指示される、シャットダウンやイベント等に関するさまざまな設定も、このサーバ監視プログラムで行います。

・留意事項やインストール手順につきましては、当社ホームページ( <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/manual/> ) 内、VMware留意事項をご確認ください。

・ServerView Resource Orchestrator(以下、ROR)にてVMware ESXiを管理対象とする方法については、RORのマニュアル「設計ガイド」→「ServerView Operations Managerの設定(VMware ESXi)」をご確認ください。

・VMwareのサーバ監視・管理においては、リモートマネジメントコントローラを使用した、サーバ監視・管理を推奨いたします。

システムボード上に実装されているコントローラを使用するため、OSが停止している場合にも継続して、サーバ監視・管理をすることが可能です。

・vCenter Serverが提供するProactive HA機能を使用する場合、ServerView ESXi CIM Providerを使用した監視が必要となります。

Proactive HA機能を使用するVMware環境のサーバ監視・管理においてはvCenter ServerにおいてはvCenter Serverを使用した、サーバ監視・管理の併用を推奨いたします。

・ServerView ESXi CIM Providerを使った監視の場合、ESXi上で利用可能なリソースに制約があるため、問題が発生した時に十分な情報が得られず原因究明にいたらない場合があります。

回避策として CIM Provider の再インストール、もしくは定期的な手動での再起動をお願いする場合がございますので、ご了承願います。

## ■ リモートマネジメントコントローラ[iRMC S5]

対応OS:

OS依存なし

概要:

リモートマネジメントコントローラは標準搭載のハードウェアです。

システムボード上に実装されているコントローラを使用するため、OSが停止している場合にも継続して、サーバ監視・管理をすることが可能です。

リモートマネジメントコントローラ[iRMC S5]によるサーバ監視・管理の設定方法につきましては、下記に掲載の「マニュアル」をご確認ください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/> →

「ServerView Suite のマニュアル」→「MANUALS」→「x86 Servers」→「Software」→「ServerView Suite」→「Out-Of-Band Management」

・OSのシャットダウン処理やOSの情報取得を行うためには、監視対象サーバ上のOSにServerView Agentless Service または ServerView Agentsをインストールする必要があります。

ServerView Agentless ServiceのサポートOSはWindows(64bit)/Linux(64bit)のみとなります。

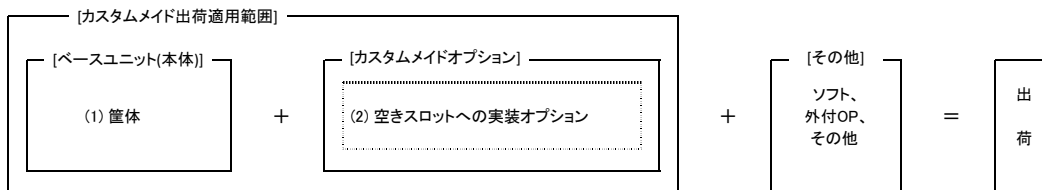
## ウイルス対策について

- PRIMERGYを安定してご使用いただくため、ウイルス対策の導入を強くおすすめします。ウイルス対策はお客様ご自身の責任において行ってください。

## カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、CPU/メモリ/ディスク等のオプション をお客様の仕様に合わせて追加し、本体に実装して出荷することのできる形態です。カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模/予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

- カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について  
カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「ベースユニット(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。それ以外の製品に関しては、製品単位で梱包されて出荷されます。



## [カスタムメイド適用製品一覧]

## (1) ベースユニット(本体)

PRIMERGY本体機種/外付オプション(JX40 S2/JX60 S2/PRIMERGY PRIMERGY SX05 S2)が対象となります。

## (2) カスタムメイドオプション: 空きスロットへの実装オプション

PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注: FMVとの共通製品等を除く)。

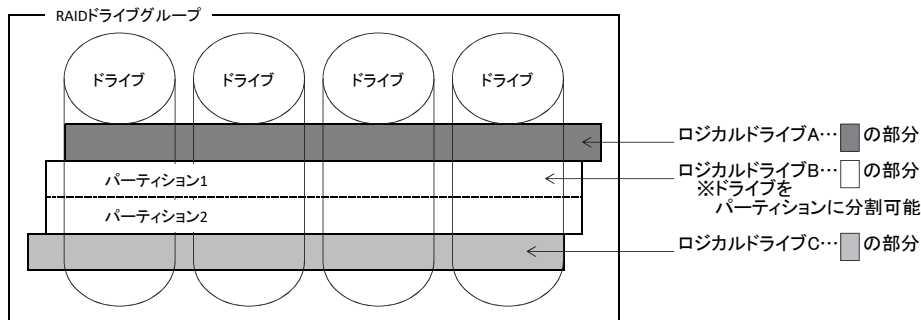
## 2. カスタムメイド出荷における注意事項について

出荷後の機器に対しOSをインストールする際には、予定外の装置に間違っ OSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先の内蔵ストレージ以外のオプション装置(内蔵HDD/SSD、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。カスタムメイド手配時にはご注意ください。

## 内蔵ストレージ関連事項

## ディスクアレイ構成の考え方

- ・RAIDドライブグループ……1つのRAIDを構成する物理的なストレージの集まり。
- ・ロジカルドライブ……OSがドライブとして認識できるドライブ。
- ・パーティション……OSで設定するロジカルドライブを分割したアクセス論理単位。



## &lt;構成規則について&gt;

- (1) RAIDドライブグループは、同型名の内蔵ストレージでの構成を推奨します。なお、同種類(SAS/ニアラインSAS/BC-SATA/SATA/SAS SSD/SATA SSD/PCIe SSD)、同容量/同回転数/同書き込み保証値の内蔵ストレージでの構成は可能です。  
※自己暗号化機能対応の内蔵ストレージを使用する場合、RAIDドライブグループは、同型名の内蔵ストレージで構成してください。
- (2) 同一RAIDドライブグループ内のロジカルドライブは、同一のRAIDレベルとなります。
- (3) ブートロジカルドライブのサイズは、2TB未満に設定してください。ロジカルドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。  
ただし、UEFI環境でご使用になる場合は2TB以上に設定することも可能です。  
各機種のUEFI環境対応状況は、当社ホームページ( <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/> )をご参照ください。
- (4) 1つのRAIDドライブグループを構成する内蔵ストレージの台数は、以下のとおりです。

・RAID0	(性能向上のために、データを複数ドライブへ分割して書き込む方式)	1~32台 (*1)	ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の総和
・RAID1	(信頼性向上のために、ドライブを二重化し同一データを書き込む方式)	2台	ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2
・RAID1E	(信頼性向上のために、データを分割・二重化し、複数ドライブに書き込む方式)	4~32台 (偶数台のみ構成可能)	ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2
・RAID1+0	(信頼性向上のために、RAID1のデータを分割(RAID0)し、複数ドライブに書き込む方式)	4~16台 (偶数台のみ構成可能)	ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2
・RAID5	(信頼性向上のために、データを分割し、パリティを加えて書き込む方式)	3~32台	ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-1)台分
・RAID5+0	(RAID5の性能向上のために、RAID5のデータを分割し、複数ストライピングに書き込む方式)	6~256台	ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID5構成のドライブ台数-1)×ストライピング数
・RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し、2つのパリティを加えて書き込む方式)	3~32台	ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-2)台分
・RAID6+0	(RAID6の性能向上のために、RAID6のデータを分割し、複数ストライピングに書き込む方式)	6~256台	ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID6構成のドライブ台数-2)×ストライピング数

(\*1) PY-SC3FA/PYBSC3FAの場合は2~10台となります。

- (5) 1つのストレージコントローラに複数のRAIDドライブグループを作成することが可能です(異なるRAIDレベルも可能)。使用するストレージコントローラごとに作成可能なRAIDドライブグループ数、ロジカルドライブ数が異なります。詳細については、下表をご確認ください。  
※各ストレージコントローラはPCIバス非サポートです。

ストレージコントローラ	型名	RAIDドライブグループ数	ロジカルドライブ数		
			RAID1+0 RAID5+0 (*1) RAID6+0 (*1)	左記以外のRAIDレベル	1カード当たり
オンボードSATAコントローラ	標準搭載	4	1	8	8
SASコントローラカード	PY-SC3FA/PYBSC3FA	2	—	1	2
SASアレイコントローラカード	PY-SR3FA/PYBSR3FA	32	16	16	32
SASアレイコントローラカード	PY-SR3C41H/PYBSR3C41H PY-SR3C42H/PYBSR3C42H PY-SR3C43H/PYBSR3C43H PY-SR3C52/PYBSR3C52/PYBSR3C52L PY-SR3C54/PYBSR3C54/PYBSR3C54L PY-SR3C55/PYBSR3C55L PYBSR3C56L PY-SR3C58/PYBSR3C58/PYBSR3C58L PYBSR3C59L PY-SR3PE/PYBSR3PEL PY-SR3PE2/PYBSR3PE2L PY-SR3CE/PYBSR3CE/PYBSR3CE5L	128	16	16	64

(\*1) 構成可能なRAIDレベルは使用するストレージコントローラの仕様準じます。

- (6) ホットスペアディスクは対象RAIDドライブグループと同じ内蔵ストレージで設定してください。  
異なる内蔵ストレージを使用した複数のRAIDドライブグループが存在する構成において、各々のRAIDドライブグループをホットスペアの対象とするためには、各々のRAIDドライブグループに対して、ホットスペアを最低1台設定する必要があります。

## SASコントローラカードの接続方法について

・SASコントローラカードは、使用OS(OS機能)により、接続可能なストレージ構成、接続方法が異なります。詳細につきましては、下表および各機種種の「内蔵ストレージ構成時の留意事項」の「■B: 使用OSに応じたストレージコントローラと内蔵ストレージの接続方法を確認」をご参照ください。

## ■接続可能方式

	使用OS	-(OS非依存)	Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019	VMware
	OS機能	Windows記憶域スペース、vSAN以外	Windows記憶域スペース (*1)(*2)	vSAN (*3)(*4)
	使用可能なストレージベイ	ストレージベイ非依存	搭載可能数9本以上のストレージベイ	ストレージベイ非依存
接続方式	非アレイ(バススルー)	×	○	○
	非アレイ(バススルー) +アレイ接続 (*5)	×	○	×
	アレイ接続 (*6)	○	×	×

○: サポート、×: 非サポート

(\*1) 物理ストレージのリソースプール管理を実現し、柔軟な仮想ストレージ構成を可能とするOS機能です。詳細につきましては、下記マイクロソフト社ホームページ「記憶域スペースの概要」等のOS側ドキュメントをご確認ください。

■マイクロソフト社公開ホームページ「記憶域スペースの概要」: <http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/hh831739.aspx>

(\*2) RX2540 M5はエキスパンダーがある構成のみのサポートとなります。

(\*3) 複数の物理サーバに内蔵されたストレージを1つの仮想的な共有ストレージ(vSAN データストア)として利用する機能です。別途有償のVMwareソフトウェアライセンスの購入が必要となります。VMware/vSANの対応状況および機能詳細につきましては、下記をご参照ください。

■当社ホームページ「VMwareのサポート情報」: <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/>

■VMware社公開ホームページ「vSAN」: <https://www.vmware.com/jp/products/vsan.html>

(\*4) PY-SC3FA3V/PYBSC3FA3Vを使用する必要があります。

(\*5) システム(OS)領域のみ、RAID0、RAID1のアレイ接続が可能です。

(\*6) アレイ接続は最大14台です。

## 記憶域スペースダイレクト機能に関する留意事項

Windows Server 2019 / 2016 Datacenterで提供されている「記憶域スペースダイレクト(Storage Space Direct)機能」を、PRIMERGYで利用するために必要なハードウェアおよび留意事項については、以下の情報を参照ください。

## ■Windows サポート&amp;サービス

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

## ・Windowsに関する留意情報

「Windows Serverの記憶域スペース機能、および、記憶域スペースダイレクト機能に関する留意事項」

## RAIDロジカルドライブのライトポリシー(Write Policy)設定とその動作

キャッシュメモリが搭載されているSASアレイコントローラカードは、RAIDロジカルドライブごとにライトポリシー(Write Policy)を「Write Back」設定にすることで、同キャッシュメモリをストレージへの書き込みキャッシュとして使用し、多くのアプリケーションで性能を向上させることが可能です。

「Write Back」動作させる場合は、サーバの電源障害などからキャッシュメモリ上のデータを保護するため、SASアレイコントローラカードのオプションであるフラッシュバックアップユニット(FBU)やバッテリーバックアップユニット(BBU)を搭載するか、無停電電源装置UPS等でサーバを使用してください。

## ■ライトポリシー(Write Policy)の解説

動作 (Current Write Mode)	キャッシュメモリの動作	FBU/BBUの搭載
Write Through	読み込みのみ	任意
Write Back	読み込み・書き込み	推奨

SASアレイコントローラカードのライトポリシー(Write Policy)設定、FBU/BBUの有無・状態ごとの動作、および出荷時の設定は下表のとおりです。

## ■ライトポリシー(Write Policy)設定とその動作

設定 (Default Write Mode)	FBU / BBU		動作 (Current Write Mode)	出荷時の設定
	有無	充電状態		
Write Through	あり / なし	—	Write Through	デフォルト出荷設定
Write Back	あり	十分	Write Back	SASアレイコントローラカード、FBU / BBUをカスタムメイド手配し、RAID設定サービスを手配された場合、「Write Back」設定で出荷
		不十分	Write Through	
	なし	—	Write Through	
Always-Write Back	あり / なし	—	Write Back	—

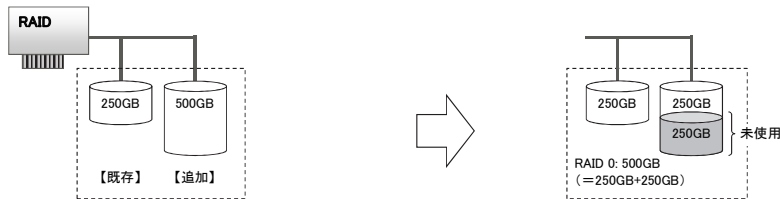
## ※ FBU/BBU使用時の注意事項

- ・BBUは、サーバ稼働中に充電されるため、稼働開始直後など充電量が不足している場合、および定期的なりキャリブレーション(調整のための充電サイクル)実行中に充電量が不足している場合は、充電完了までの間、Write Back設定時においても、動作は「Write Through」となります。
- ・FBUは、稼働開始直後など充電量が不足している場合、充電完了までの間、Write Back設定時においても、動作は「Write Through」となります。リキャリブレーション中においてもWrite Back設定は維持されます。
- ・充電完了までの目安は、FBU: 最大10分程度、BBU: 最大12時間程度となります。

## 異なる容量のドライブ増設時のアレイ構築について

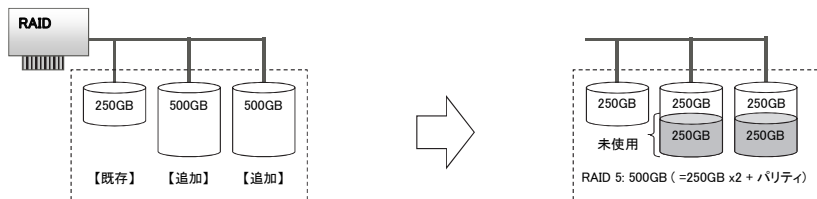
- アレイ構築の際、RAIDドライブグループ内のドライブには同一型名品の使用を推奨していますが、以下の点を留意いただくことで異なる容量のドライブによるアレイ構築が可能です。

## (1) RAID0 or RAID1の場合



ストレージコントローラの仕様として、アレイを構成するために指定したドライブ中(RAIDドライブグループ)、最小容量となるドライブの容量をベースにロジカルドライブが構築されます。  
 既存ドライブが250GB、追加するドライブの容量が500GBの場合、追加ドライブ中の250GBのみが、ロジカルドライブとして使用されます。  
 このため、RAID0(ストライピング)を指定した場合には、最大500GBのロジカルドライブが、RAID1(ミラー)を指定した場合、最大250GBのロジカルドライブが構築できます。追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

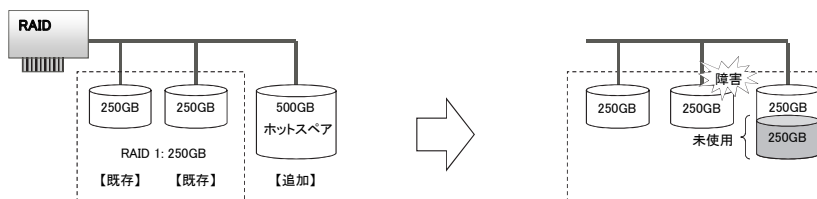
## (2) RAID5の場合



既存ドライブ250GBに、2台の500GBドライブを追加しRAID5を構築する場合も、上記のRAID0、1を構築する場合と同様に、最小容量のドライブ(250GB)をベースにロジカルドライブが構築されます。このため、RAID5を指定した場合、最大500GBのロジカルドライブを構築できます。  
 追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

- アレイを構成しているドライブより大きな容量のドライブであれば、ホットスペアドライブとして使用することができます。

## (3) ホットスペアドライブとして追加した場合



250GBのドライブ2台によるRAID1(ミラー)に、ホットスペアドライブとして500GBドライブを設定した場合、障害が発生した際は、スペアドライブ中の250GBを使用してリビルドが行われます。残り250GBは未使用となります。

## 消耗品の扱いについて

- 下表のバッテリー(ストレージコントローラに搭載されているバッテリーも含む)は、消耗品となります。
- 消耗品には寿命があります。寿命は、バッテリーを搭載し、初回通電日からの換算となります。
- 寿命に至った場合、保証期間、SupportDesk契約有無(※)に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、お客様に交換用バッテリー製品をご購入いただき、交換作業をしていただく必要があります。
- なお、寿命期間は25°Cを基準温度として定めており、お客様の使用温度によって寿命期間が前後することがありますのであらかじめご留意ください。
- バッテリーは非稼働な状態でも、放電を続けるため、ご購入後は速やかな搭載作業をお願いいたします。
- RAS支援サービスやOS標準スケジューリング機能により交換予告通知設定をすることが可能です。事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。
- 詳細につきましては、当社ホームページ「定期交換部品・消耗品・有寿命部品」( <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/parts/> )をご参照ください。

※SupportDesk Standardをご契約いただいているお客様向けに、「SupportDesk 保守サービスプラス 予防保守 RAIDバッテリー定期交換(PRIMERGY)」をご用意しております。詳細については当社ホームページ( <https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/menu/maintenance/raidbattery/> )をご参照ください。  
 ※お客様に代わって、指定のサービスエンジニアによるバッテリー交換サービスとして、「SASアレイコントローラカード/バッテリー交換作業代行サービス」をご用意しております。詳細については当社ホームページ( <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/service/parts-exchange.html> )をご参照ください。

## ■2014年1月以降提供製品

バッテリー【消耗品】		交換用バッテリー【消耗品】		
寿命期間:「2年」		寿命期間:「2年」		
品名		品名	型名	価格(税別)
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01A	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC1A	12,000円
	PYBBR01A			
	PYBBR02A			
	PYBBR03A			
	PY-BBR06A			
バッテリーバックアップユニット	PYBBR06A	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC2A	12,000円
	PY-BBR07A			
	PY-BBR04A			
	PYBBR04A			
	PYBBR05A			

## ■2013年12月以前提供製品 ※旧製品(販売終息済み)

バッテリー【消耗品】		交換用バッテリー【消耗品】			2014年1月販売開始		
旧製品(販売終息済み)		旧製品(販売終息済み)			寿命期間:「2年」		
寿命期間:「約3年」		寿命期間:「約3年」			寿命期間:「2年」		
品名	型名	品名	型名	価格(税別)	品名	型名	価格(税別)
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01	バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC1A	12,000円
	PYBBR01						
	PYBBR02						
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PG-BBU7	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PG-BBU7	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC2A	12,000円
	PGBBBU7						
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PY-BBD02	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PY-BBD02	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC3A	11,000円
	PYBBBD02						
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-248KL	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU5	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC2A	12,000円
	PG-248GL						
	PG-248G1						
	PG-248G2						
	PG-248G3						
	PG-248G3L						
	PG-248C3						
	PG-248C4						
	PG-248C6						
	PG-248C2L						
	PG-248J						
	PG-248J1						
	PG-248JC						
	PG-248J5						
	PG-248C7						
	PG-248C8						
	PG-248G5						
PG-248J2							
PG-248JL							
PG-248J3							
PG-248J4							
PG-248K							
PG-248KL							
PG-248K3							
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU6	バッテリーバックアップユニット	PY-BBR04	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC3A	11,000円
PGBBBU6							
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR04	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU1	20,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC5A	11,000円
	PYBBR04						
	PYBBR05						
	PG-248C						
	PG-248C1						
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-248CL	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU4	20,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC5A	11,000円
	PG-244C1						
	PG-244CL						
	PG-248G						
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-248G1L	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU2	20,000円	保守終息済みのため、後継製品の提供はありません。		
	PG-248G2L						
	PG-244C						
SASアレイコントローラカード	PGB244C	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU2	20,000円	保守終息済みのため、後継製品の提供はありません。		

(\*1) 資料内は一般型名(別梱包で出荷)[PG-型名]のみ記載しておりますが、カスタムメイド型名(本体内蔵出荷)[PGB型名]も対象となります。

## 有寿命部品関連事項

## 有寿命部品のSSD / DCPMMについて

本製品は、書き込み寿命を有するメモリを含んだ「有寿命部品」となります。  
 お客様のご使用方法により、保証期間内またはSupportDesk契約期間内にメモリの書き込み寿命を迎える場合があります。  
 製品の保証は、当社の定める製品保証期間/SupportDesk契約終了日、または書き込み保証値に達した場合のいずれか早い時点で終了となります。  
 ご使用中に書き込み保証値に達し、寿命に至った場合(\*)、製品保証期間/SupportDesk契約有無に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、お客様に製品を再度ご購入いただく必要があります。

(\*) 当該製品が書き込み寿命を迎えた後もご使用を続けた結果、故障に至った場合も同様の対応となります。

定期的に状態をご確認いただき、製品の書き込みデータ量に達する前(寿命到達前)に当社担当営業、もしくは販売パートナーまで再購入のご相談をくださいますようお願いいたします。

また、SupportDesk契約の内容によっては、製品の再購入により、SupportDesk契約の更新・変更手続きが必要な場合もありますので、こちらにつきましても、当社担当営業、もしくは販売パートナーまでご相談くださいますようお願いいたします。

富士通へ保守作業をご依頼いただく際には、あらかじめ寿命に至っているかどうかをご確認のうえ、お申込みください。

## SSD / DCPMMの書き込み保証値について

本製品の状態は、管理ツールを使用して確認できます。  
 DCPMMの寿命監視の方法は、「DCPMMユーザーズガイド」をご参照ください。

本製品の書き込み保証値と管理ツールの詳細な操作方法については、下記の当社公開ホームページをご参照ください。  
 当社ホームページ( <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/parts/#parts2> )

管理ツールおよびドライバは、当社ホームページ「ダウンロード」より入手できます。  
 当社ホームページ( <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/> )

## SATA SSD[有寿命部品]をアレイ構成で使用する場合について

SATA SSD[有寿命部品]をオンボードSATAコントローラに接続し、アレイ構成にてご使用になる場合は、必ずソフトウェアRAID用ドライバをご確認のうえ、ご使用ください。

OS	ドライバ(ドライバキット)名称とバージョン
Windows全般	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Windows Driver バージョン : V17.01.2016.0216以降
Red Hat Enterprise Linux 8.1 (for Intel64)	オンボードSATAコントローラに接続したアレイ構成は、現在制限です
Red Hat Enterprise Linux 8.0 (for Intel64)	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン : V18.02.2019.0603以降
Red Hat Enterprise Linux 7.7 (for Intel64)	オンボードSATAコントローラに接続したアレイ構成は、現在制限です
Red Hat Enterprise Linux 7.6 (for Intel64)	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン : V18.02.2019.0304以降
Red Hat Enterprise Linux 7.5 (for Intel64)	初版から対応済み
Red Hat Enterprise Linux 7.4 (for Intel64)	初版から対応済み
Red Hat Enterprise Linux 7.3 (for Intel64)	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン : V17.01.2016.0216以降
SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1 for AMD64 & Intel64	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン : V18.02.2019.0603以降
SUSE Linux Enterprise Server 15 for AMD64 & Intel64 SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 2 for AMD64 & Intel64 SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 3 for AMD64 & Intel64 SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4 for AMD64 & Intel64	ソフトウェアRAID Embedded MegaRAID Linux Driver バージョン : V17.01.2016.0216以降



## メモリ関連事項

## OSにおける最大CPU数/使用可能なメモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意願います。使用可能メモリ容量は以下のとおりです  
(搭載可能なメモリ容量およびサポートOSは機種により異なります)。

OS略称	最大CPU数 (*1)	使用可能メモリ容量
WS19S	無制限(～64)	24TB
WS19D	無制限(～64)	24TB
WS19E	(～2)	64GB
WSI19SS	無制限(～64)	24TB
WS16S	無制限(～64)	24TB
WS16D	無制限(～64)	24TB
WS16E	(～2)	64GB
WSS16S	(～2)	24TB
WS12S / WS12RS	(～64)	4TB
WS12D / WS12RD	(～64)	4TB
WS12F / WS12RF	(～1)	32GB
WS12E / WS12RE	(～2)	64GB
WSS12RS	(～64)	4TB
RHEL8(Intel64)	～224	24TB
RHEL7(Intel64)	～224	12TB
SLES 15 (x86_64)	～8192	64TB
SLES 12 (x86_64)	～8192	64TB
vS6.7	768	16TB
vS6.5	576	12TB

(\*1) ハイパースレッディング・テクノロジー機能による論理CPU、デュアルコアCPU、クアッドコアCPU、6コア/8コア/10コア/12コア/14コア/16コア/18コア/20コア/22コア/24コア/26コア/28コアCPUのCPUコアをCPUの数としてカウントします。( )内は物理CPU数です。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### メモリの動作モードについて

メモリ動作モードには、インディペンデントチャンネルモード、ランクスペアリングモード、パフォーマンスモード、ミラードチャンネルモードの4種類があります。メモリ動作モードの選定でメモリ構成や搭載条件が決められ、性能・動作が変わります。CPU1、CPU2は同じメモリモードで動作します。メモリ構成の詳細はモデルによって異なります。詳細は以下を参照してください。

#### ■RX2520 M5/TX2550 M5の場合

##### 【インディペンデントチャンネルモード】

Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では、SDDC機能は未サポートです。

##### 【DIMMの搭載位置(DIMMが1型名の時)】(工場出荷時)

・工場出荷時はDIMM2型名以上は搭載できません。

###### ■物理CPU1個構成時

CPU ctrl.	CPU1					
	iMC1			iMC0		
Channel	F	E	D	A	B	C
socket	1F	1E	1D	1A	1B	1C
#DIMMS						
1	-	-	-	○	-	-
2	-	-	-	○	○	-
3	-	-	-	○	○	○
4	-	○	○	○	○	-
5*	-	○	○	○	○	-
6	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載、\*: 推奨しない構成

###### ■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
	iMC1			iMC0			iMC1			iMC0		
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)
socket	1F	1E	1D	1A	1B	1C	1M	1L	1K	1G	1H	1J
#DIMMS												
2(1/1)	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-
3(2/1)	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-
4(2/2)	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-
5(3/2)	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○
6(3/3)	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○
7(4/3)	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○
8(4/4)	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-
9(6/3)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○
10(6/4)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-
11(6/5)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○
12(6/6)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

##### 【DIMMの搭載位置(DIMMが2型名で偶数枚の時)】(増設時)

- ・DIMMが2型名の時、以下の搭載位置にすることを推奨します。
- ・DIMM3型名は搭載不可です。
- ・DIMMの混在可能な組み合わせについては、各機種種の「メモリの搭載について」をご参照ください。

###### ■物理CPU1個構成時

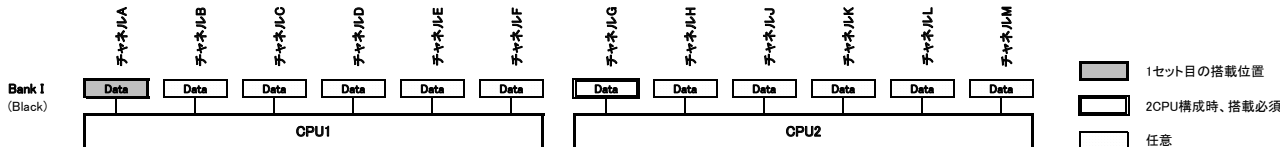
CPU	CPU1					
	iMC1			iMC0		
Channel	F	E	D	A	B	C
socket	1F	1E	1D	1A	1B	1C
#DIMMS						
2	-	-	1	2	-	-
4	-	1	1	2	2	-
6	1	1	1	2	2	2

数字: 搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-: メモリ非搭載

###### ■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
	iMC1			iMC0			iMC1			iMC0		
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)
socket	1F	1E	1D	1A	1B	1C	1M	1L	1K	1G	1H	1J
#DIMMS												
2(1/1)	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-
4(2/2)	-	-	1	2	-	-	-	-	2	1	-	-
6(3/3)	-	1	1	2	2	-	-	-	2	1	-	-
8(4/4)	-	1	1	2	2	-	-	2	2	1	1	-
10(6/4)	1	1	1	2	2	2	-	2	2	1	1	-
12(6/6)	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1

数字: 搭載(1と2は2種類の異なるDIMM)、-: メモリ非搭載



※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### 【ミラードチャンネルモード】

- (1) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (2) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では使用できません。
- (3) 同一型メモリのみ搭載可能です。

### 【DIMMの搭載位置】

#### ■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1					
	iMC1			iMC0		
Channel	F	E	D	A	B	C
socket	1F	1E	1D	1A	1B	1C
#DIMMS						
2	-	-	-	○	○	-
3	-	-	-	○	○	○
4	-	○	○	○	○	-
6	○	○	○	○	○	○

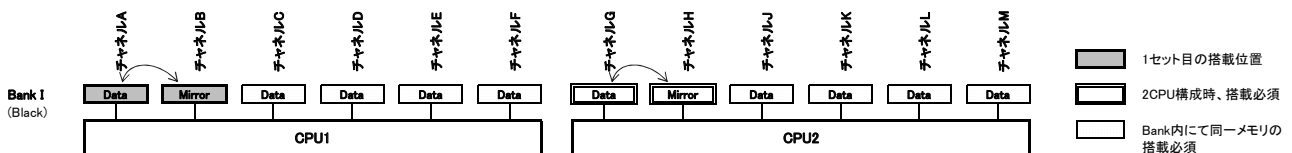
○: 搭載、-: メモリ非搭載

#### ■物理CPU2個構成時

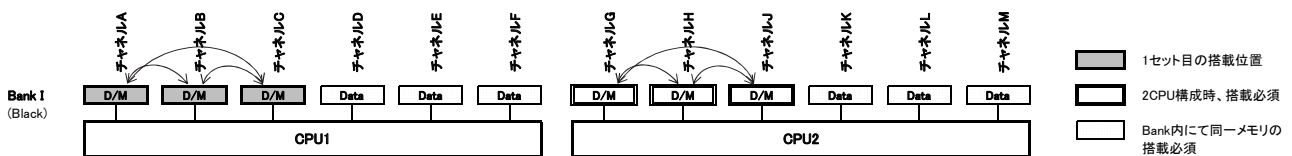
CPU	CPU1						CPU2					
	iMC1			iMC0			iMC1			iMC0		
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)
socket	1F	1E	1D	1A	1B	1C	1M	1L	1K	1G	1H	1J
#DIMMS												
4(2/2)	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-
5(3/2)	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	-
6(3/3)	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○
7(4/3)	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○
8(4/4)	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○
9(6/3)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○
10(6/4)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○
12(6/6)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

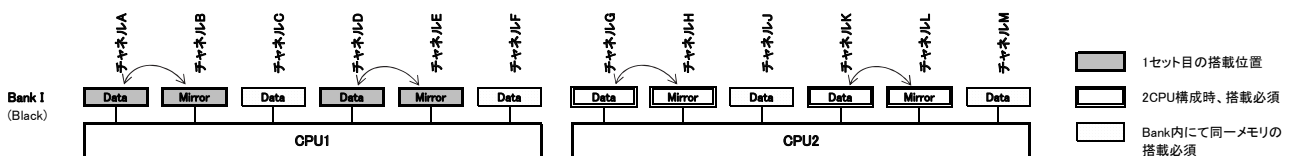
#### <1CPUあたり2 DIMMsの場合>



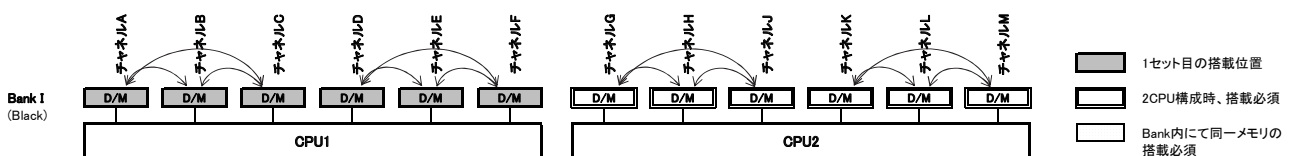
#### <1CPUあたり3 DIMMsの場合>



#### <1CPUあたり4 DIMMsの場合>



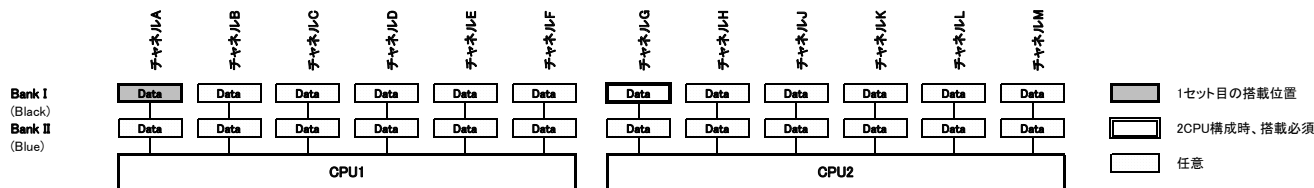
#### <1CPUあたり6 DIMMsの場合>



D/M: Data/Mirror



※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。



### 【ランクスベアリングモード】

- 同一メモリチャンネルの中で、1つのランクはほかのランクのスペアとして利用できます。
- スペアに設定されたランクはスペア用として予約されているため、システムメモリとして利用できません。
- 同一メモリチャンネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- 物理CPU2個構成時はCPU1側とCPU2側で同じ枚数のDIMMを搭載する必要があります。
- ランクスベアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一メモリ型名のみ搭載可能です。
- 最小構成: 1チャンネルあたり、Single Rank × 2、Dual Rank × 1、またはQuad Rank × 1
- Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では使用できません。
- 使用可能なメモリ容量は、1チャンネルあたり以下となります。

### 【メモリ使用可能容量】

	RDIMM				LRDIMM		
	8GB SR	16GB SR	16GB DR	32GB DR	64GB DR	128GB QR	
1DPC	-	-	8GB	16GB	32GB	48GB	96GB
2DPC	8GB	16GB	24GB	48GB	96GB	112GB	224GB

SR: Single Rank  
DR: Dual Rank  
QR: Quad Rank

※DPC: チャンネルあたりのDIMM数

### 【DIMMの搭載位置】

#### <Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>

##### ■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
	ctrl.		iMC1				iMC0					
Channel	F	E	D	A	B	C						
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C
#DIMMS												
2	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-
6	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
8	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
10	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

##### ■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1										CPU2														
	ctrl.		iMC1				iMC0				iMC1			iMC0											
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)													
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G	2H	1H	2J	1J	
#DIMMS																									
4(2/2)	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
6(4/2)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-
8(4/4)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
10(6/4)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
12(6/6)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
14(8/6)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
16(8/8)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
18(10/8)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
20(10/10)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
22(12/10)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
24(12/12)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

#### <Dual Rankメモリ / Quad Rankメモリの場合>

##### ■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
	ctrl.		iMC1				iMC0					
Channel	F	E	D	A	B	C						
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C
#DIMMS												
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	○	○	-	○	-	-
4	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-
5	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
6	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
7	-	-	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○
8	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
9	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
10	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 搭載、-: メモリ非搭載

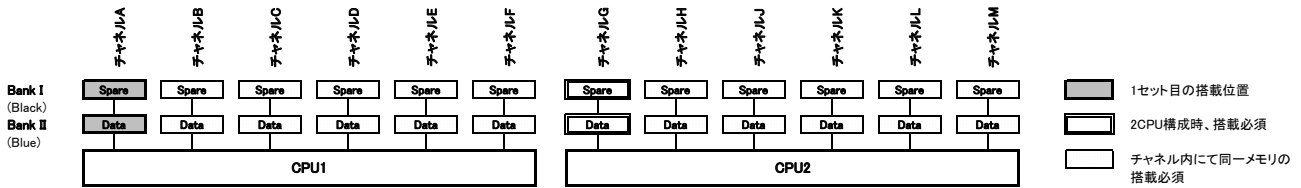
##### ■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1										CPU2														
	ctrl.		iMC1				iMC0				iMC1			iMC0											
Channel	F	E	D	A	B	C	M(F)	L(E)	K(D)	G(A)	H(B)	J(C)													
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G	2H	1H	2J	1J	
#DIMMS																									
2(1/1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
4(2/2)	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
6(4/2)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-
8(4/4)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
10(6/4)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
12(6/6)	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
14(8/6)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
16(8/8)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
18(10/8)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
20(10/10)	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
22(12/10)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
24(12/12)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

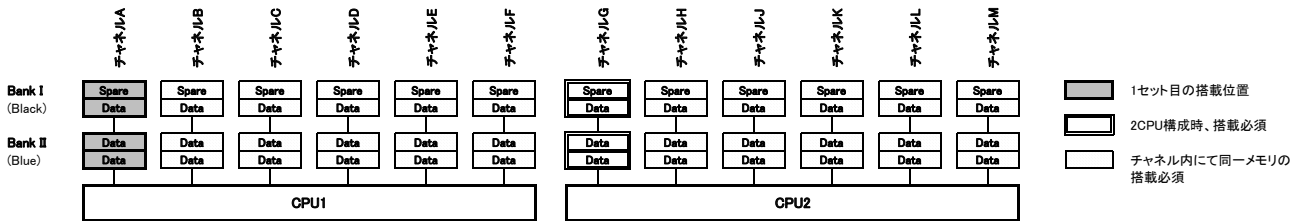
○: 搭載、-: メモリ非搭載

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

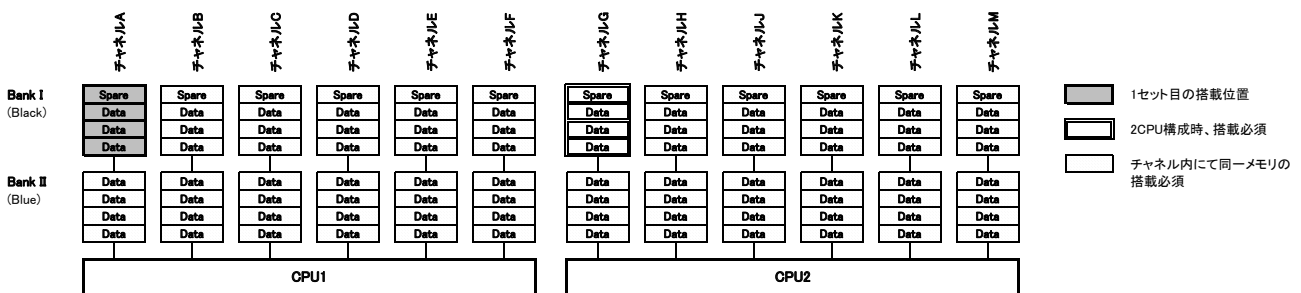
### < Single Rankメモリ (RDIMM)の場合 >



### < Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合 >



### < Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合 >



### 【ミラーチャンネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
- (2) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (3) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では使用できません。
- (4) ミラーチャンネルモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。

### 【DIMMの搭載位置】

#### ■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1											
	ctrl.						iMC0					
	F		E		D		A		B		C	
Channel	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C
#DIMMS	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
8	-	-	○	○	-	-	○	○	-	-	○	○
9	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
12	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-

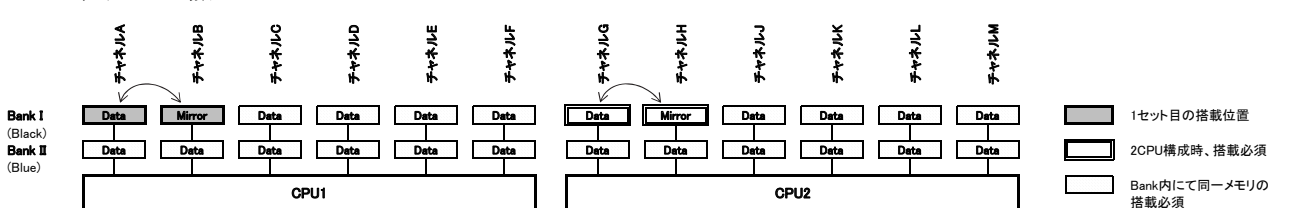
○: 搭載、-: メモリ非搭載

#### ■物理CPU2個構成時(すべてのモジュールが同じ容量の場合)

CPU	CPU1												CPU2											
	ctrl.						iMC0						iMC1						iMC0					
	F		E		D		A		B		C		M(F)		L(E)		K(D)		G(A)		H(B)		J(C)	
Channel	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G	2H	1H	2J	1J
#DIMMS	1F	2F	1E	2E	1D	2D	2A	1A	2B	1B	2C	1C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	2G	1G	2H	1H	2J	1J
4(2/2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5(3/2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6(3/3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7(4/3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8(4/4)	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9(6/3)	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
10(6/4)	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
11(8/3)	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
12(6/6)	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
14(8/6)	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
15(9/6)	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
16(8/8)	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
17(9/8)	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
18(9/9)	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
20(12/8)	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
21(12/9)	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
24(12/12)	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-

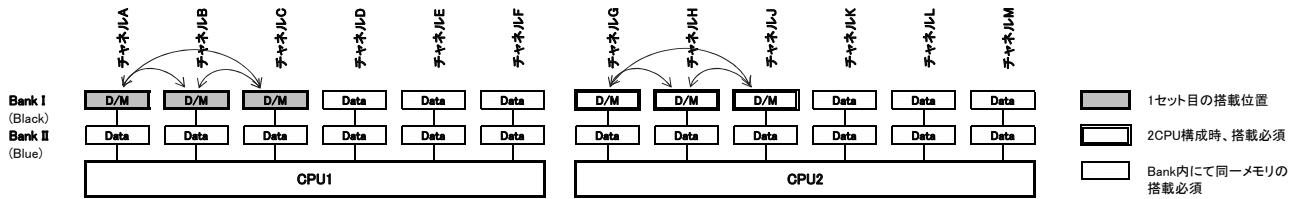
○: 搭載、-: メモリ非搭載

### < 1CPUあたり2 DIMMsの場合 >

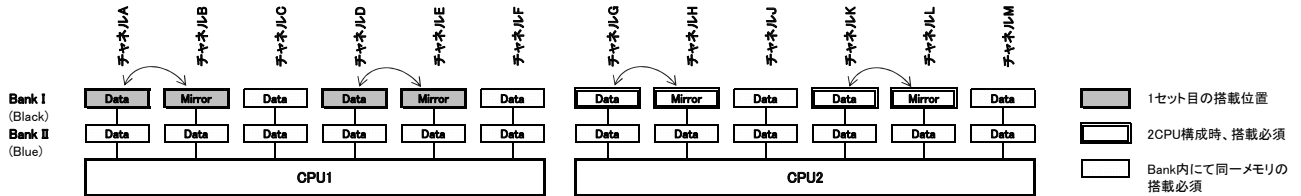


※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

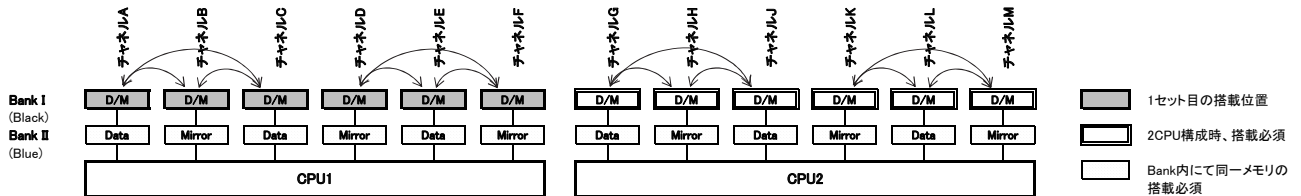
### <1CPUあたり3 DIMMsの場合>



### <1CPUあたり4 DIMMsの場合>



### <1CPUあたり6 DIMMsの場合>



D/M: Data/Mirror









※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### 【ミラードチャンネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
- (2) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (3) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2933 RDIMM × 12))では使用できません。
- (4) ミラーチャンネルモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。
- (5) 物理CPU4個構成時、12枚セットのメモリ × 1、× 3(12、36枚構成)は搭載不可です。

### 【DIMMの搭載位置】

#### ■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1												CPU2											
	iMC1						iMC0						iMC1						iMC0					
	Channel	F	E	D	A	B	Channel	F	E	D	A	B	Channel	F	E	D	A	B	Channel	F	E	D	A	B
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	1G	2G	1H	2H	1J	2J
#DIMMS	1F	2F	1E	2E	1D	2D	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	1G	2G	1H	2H	1J	2J
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

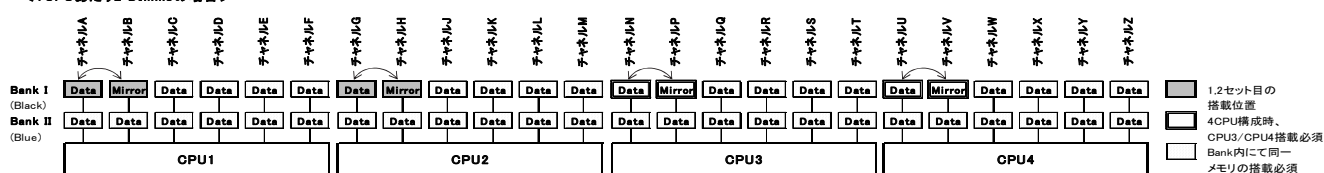
○: 搭載、-: メモリ非搭載

#### ■物理CPU4個構成時

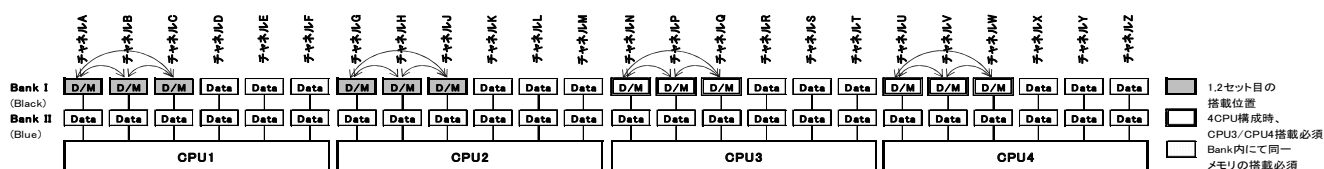
CPU	CPU1												CPU2												CPU3												CPU4											
	iMC1						iMC0						iMC1						iMC0						iMC1						iMC0																	
	Channel	F	E	D	A	B	Channel	F	E	D	A	B	Channel	F	E	D	A	B	Channel	F	E	D	A	B	Channel	F	E	D	A	B	Channel	F	E	D	A	B												
socket	1F	2F	1E	2E	1D	2D	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1T	2T	1S	2S	1R	2R	1N	2N	1P	2P	1Q	2Q	1Z	2Z	1Y	2Y	1X	2X						
#DIMMS	1F	2F	1E	2E	1D	2D	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1M	2M	1L	2L	1K	2K	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1T	2T	1S	2S	1R	2R	1N	2N	1P	2P	1Q	2Q	1Z	2Z	1Y	2Y	1X	2X						
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						

○: 搭載、-: メモリ非搭載

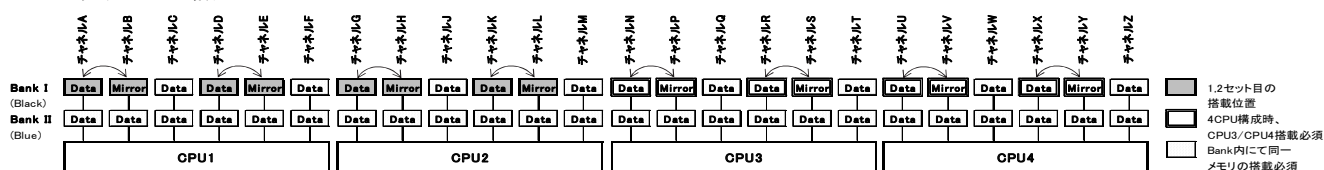
#### <1CPUあたり2 DIMMsの場合>



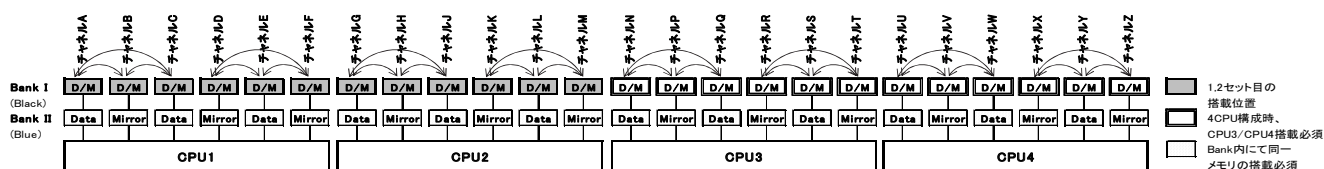
#### <1CPUあたり3 DIMMsの場合>



#### <1CPUあたり4 DIMMsの場合>



#### <1CPUあたり6 DIMMsの場合>



D/M: Data/Mirror

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### ■CX2570 M4の場合

#### 【インディペンデントチャンネルモード】

Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では、SDCC機能は未サポートです。

#### 【DIMMの搭載順】

##### ■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1					
	チャンネル		スロット		DIMMs	
	A	B	C	D	E	F
1	①	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	②	-
3	①	-	③	-	②	-
4	①	-	③	-	②	④
5	①	-	③	⑤	②	④
6	①	-	③	⑤	②	④
7	①	⑦	③	⑤	②	④
8	①	⑦	③	⑤	②	④

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

##### ■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
	チャンネル		スロット		DIMMs		チャンネル		スロット		DIMMs	
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
2	①	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-
3	①	-	-	-	③	-	②	-	-	-	-	-
4	①	-	-	③	-	-	②	-	-	-	④	-
5	①	-	⑤	-	③	-	②	-	-	-	④	-
6	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	-
7	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	-
8	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	⑧
9	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	⑧
10	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	⑧
11	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	⑧
12	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	⑧
13	①	⑩	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	⑧
14	①	⑩	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	⑧
15	①	⑩	⑤	-	③	⑮	②	⑭	⑥	-	④	⑧
16	①	⑩	⑤	-	③	⑮	②	⑭	⑥	-	④	⑧

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

#### 【ランクスペアリングモード】

- 同一メモリチャンネルの中で、1つのランクはほかのランクのスペアとして利用できます。
- スペアに設定されたランクはスペア用として予約されているため、システムメモリとして利用できません。
- 1DPC構成のみサポートします(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
- Single Rankメモリは使用できません。
- ランクスペアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一メモリ型名のみ搭載可能です。
- 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では使用できません。
- 使用可能なメモリ容量は、1チャンネルあたり以下になります。

#### 【メモリ使用可能容量】

	RDIMM		3DS RDIMM		LRDIMM
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
	SR	SR	DR	QR	OR
1DPC	-	-	16GB	48GB	112GB
2DPC	-	-	-	-	-

※DPC: チャンネルあたりのDIMM数

SR: Single Rank  
DR: Dual Rank  
QR: Quad Rank  
OR: Octa Rank

#### 【DIMMの搭載順】

##### ■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1					
	チャンネル		スロット		DIMMs	
	A	B	C	D	E	F
1	①	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	②	-
3	①	-	③	-	②	-
4	①	-	③	-	②	④
5	①	-	③	⑤	②	④
6	①	-	③	⑤	②	④

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

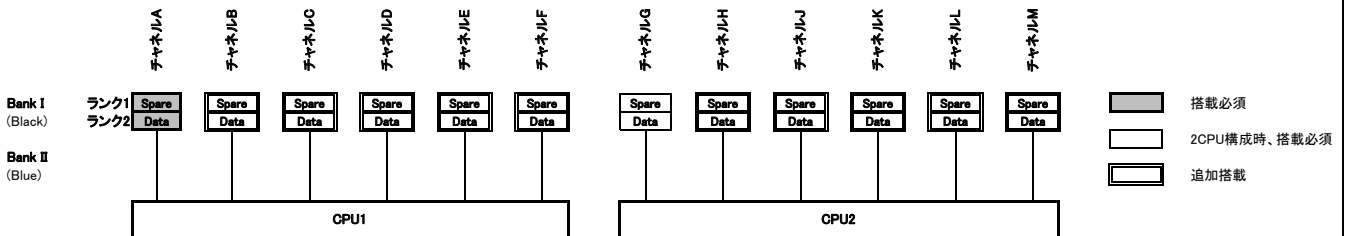
##### ■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2					
	チャンネル		スロット		DIMMs		チャンネル		スロット		DIMMs	
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
2	①	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-
3	①	-	-	-	③	-	②	-	-	-	-	-
4	①	-	-	③	-	-	②	-	-	-	④	-
5	①	-	⑤	-	③	-	②	-	-	-	④	-
6	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	-
7	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	-
8	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	⑧
9	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	⑧
10	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	⑧
11	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	⑧
12	①	-	⑤	-	③	-	②	-	⑥	-	④	⑧

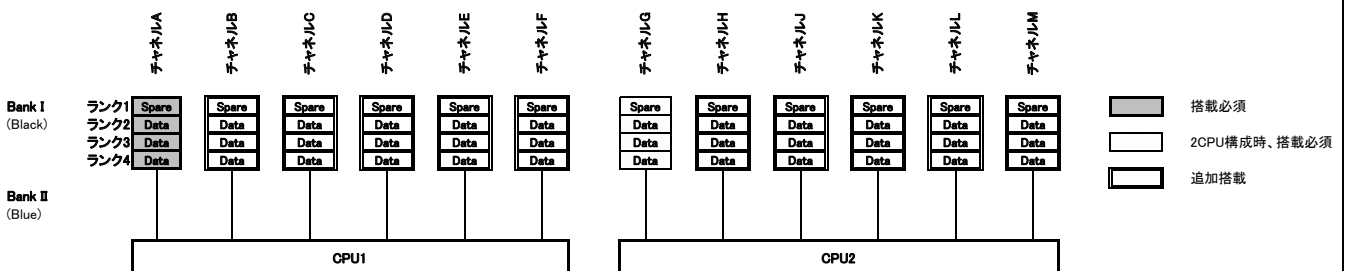
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

#### 【DIMMの搭載位置】

##### <Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>

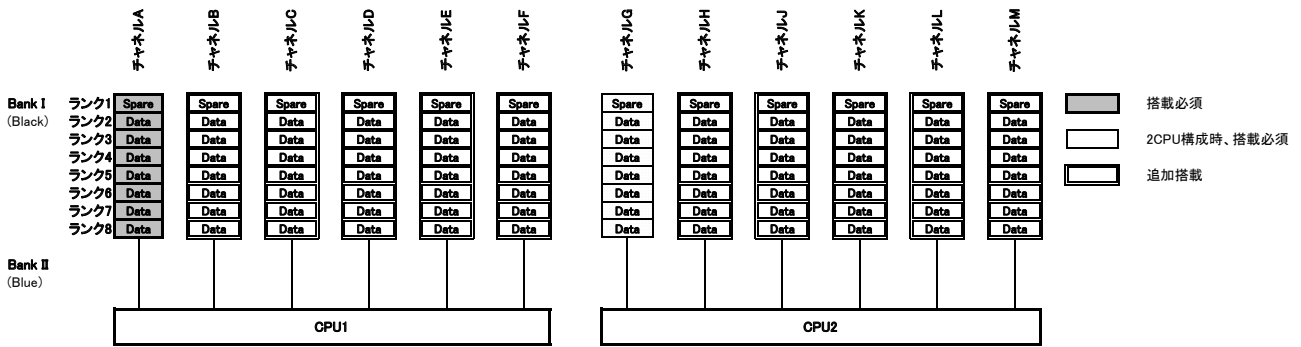


##### <Quad Rankメモリ (RDIMM)の場合>



※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### <Octa Rankメモリ (RDIMM)の場合>



### 【パフォーマンスモード】

- メモリの最大性能にて動作します。
- 1DPC構成のみサポートします(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
- 各CPUには、6枚の同一DIMMを搭載する必要があります。
  - 1CPU構成は、同一DIMM 6枚単位
  - 2CPU構成は、同一DIMM 12枚単位
- 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では、SDDC機能は未サポートです。

### 【DIMMの搭載順】

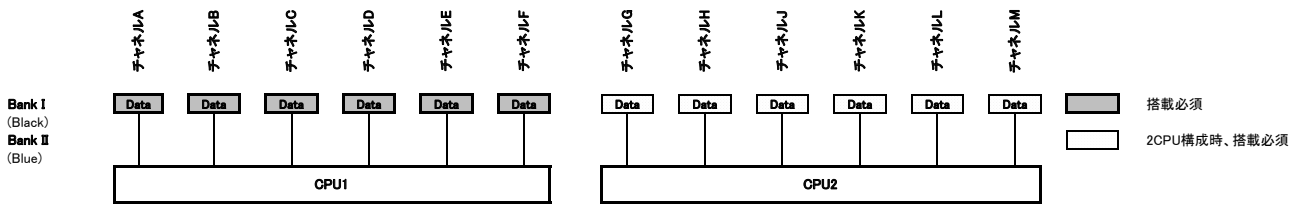
#### ■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1					
	A		B		C	
チャンネル	1A	2A	1B	2B	1C	2C
スロット	1A	2A	1B	2B	1C	2C
DIMMs	①	②	③	④	⑤	⑥

#### ■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2																	
	A		B		C		D		E		F		G		H		J		K		L		M	
チャンネル	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M
スロット	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M
DIMMs	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔

### 【DIMMの搭載位置】



### 【ミラーチャンネルモード】

- 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- 1DPC構成のみサポートします(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
- 各CPUには最低2枚の同一DIMMを搭載する必要があります。
- ミラーチャンネルモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。
- 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2666 RDIMM × 1)、メモリ-192GB(16GB 2666 RDIMM × 12))では使用できません。

### 【DIMMの搭載順】

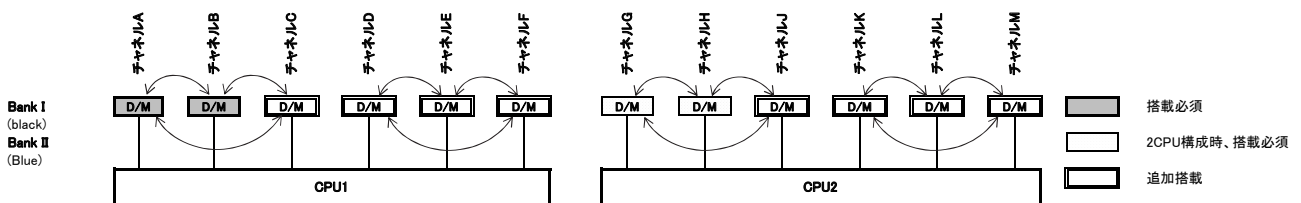
#### ■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1					
	A		B		C	
チャンネル	1A	2A	1B	2B	1C	2C
スロット	1A	2A	1B	2B	1C	2C
DIMMs	①	②	③	④	⑤	⑥

#### ■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2																	
	A		B		C		D		E		F		G		H		J		K		L		M	
チャンネル	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M
スロット	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F	1G	2G	1H	2H	1J	2J	1K	2K	1L	2L	1M	2M
DIMMs	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔

### 【DIMMの搭載位置】



D/M: Data/Mirror

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### ■CX2550 M5/CX2560 M5の場合

#### 【インディペンデントチャンネルモード】

Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1))では、SDCC機能は未サポートです。

#### 【DIMMの搭載順】

##### ■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1								
	チャンネル		CPU1						
スロット	A	B	C	D	E	F			
DIMMs	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	-
1	①	-	-	-	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	②	-	-	-	-
3	①	-	③	-	②	-	-	-	-
4	①	-	③	-	②	-	④	-	-
5	①	-	③	⑤	②	-	④	-	-
6	①	-	③	⑤	②	-	④	-	⑥
7	①	⑦	③	⑤	②	-	④	-	⑥
8	①	⑦	③	⑤	②	⑧	④	-	⑥

○内数字：搭載順、-：メモリ非搭載

##### ■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2													
	チャンネル		CPU1				チャンネル		CPU2											
スロット	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M								
DIMMs	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	-	1G	2G	1H	1J	1K	2K	1L	1M	-		
2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-		
3	①	-	-	-	③	-	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-	-		
4	①	-	-	-	③	-	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-	-		
5	①	-	⑤	-	③	-	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-	-		
6	①	-	⑤	-	③	-	-	-	-	②	-	⑥	-	④	-	-	-	-		
7	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	-	②	-	⑥	-	④	-	-	-	-		
8	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	-	②	-	⑥	-	④	-	⑧	-	-		
9	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	-	②	-	⑥	-	④	-	⑧	-	-		
10	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧		
11	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	⑪	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	
12	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	⑪	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	⑫
13	①	⑬	⑤	-	③	-	⑦	-	⑪	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	⑫
14	①	⑬	⑤	-	③	-	⑦	-	⑪	-	②	⑭	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	⑫
15	①	⑬	⑤	-	③	⑮	⑦	-	⑪	-	②	⑭	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	⑫
16	①	⑬	⑤	-	③	⑮	⑦	-	⑪	-	②	⑭	⑥	-	⑩	-	④	⑯	⑧	⑫

○内数字：搭載順、-：メモリ非搭載

#### 【ランクスペアリングモード】※CX2560 M5のみ

- 同一メモリチャンネルの中で、1つのランクはほかのランクのスペアとして利用できます。
- スペアに設定されたランクはスペア用として予約されているため、システムメモリとして利用できません。
- 1DPC構成のみサポートします(DPC:チャンネルあたりのDIMM数)。
- Single Rankメモリは使用できません。
- ランクスペアリング設定サービスを選択し、カスタマイズにてメモリを搭載する場合、同一メモリ型名のみ搭載可能です。
- 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1))では使用できません。
- 使用可能なメモリ容量は、1チャンネルあたり以下となります。

#### 【メモリ使用可能容量】

	RDIMM		LRDIMM		LRDIMM 3DS	
	8GB SR	16GB SR	16GB DR	32GB DR	64GB QR	128GB OR
1DPC	-	-	8GB	16GB	48GB	64GB

※DPC:チャンネルあたりのDIMM数

SR: Single Rank  
DR: Dual Rank  
QR: Quad Rank  
OR: Octa Rank

#### 【DIMMの搭載順】

##### ■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1								
	チャンネル		CPU1						
スロット	A	B	C	D	E	F			
DIMMs	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	-
1	①	-	-	-	-	-	-	-	-
2	①	-	-	-	②	-	-	-	-
3	①	-	③	-	②	-	-	-	-
4	①	-	③	-	②	-	④	-	-
5	①	-	③	⑤	②	-	④	-	-
6	①	-	③	⑤	②	-	④	-	⑥

○内数字：搭載順、-：メモリ非搭載

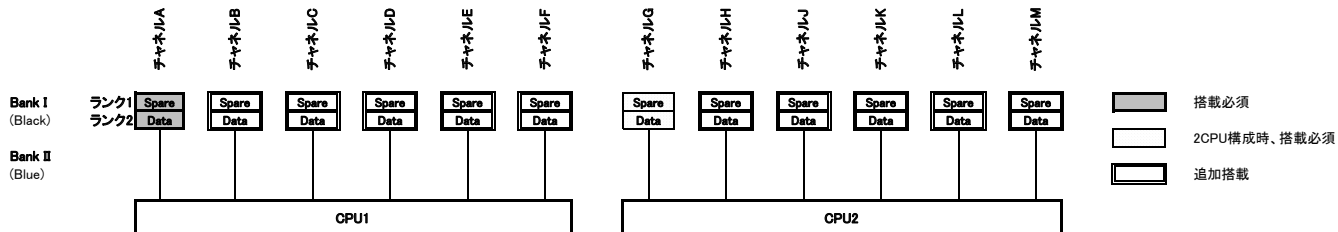
##### ■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2													
	チャンネル		CPU1				チャンネル		CPU2											
スロット	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M								
DIMMs	1A	2A	1B	1C	1D	2D	1E	1F	-	1G	2G	1H	1J	1K	2K	1L	1M	-		
2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-		
3	①	-	-	-	③	-	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-	-		
4	①	-	-	-	③	-	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-	-		
5	①	-	⑤	-	③	-	-	-	-	②	-	-	-	④	-	-	-	-		
6	①	-	⑤	-	③	-	-	-	-	②	-	⑥	-	④	-	-	-	-		
7	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	-	②	-	⑥	-	④	-	-	-	-		
8	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	-	②	-	⑥	-	④	-	⑧	-	-		
9	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	-	②	-	⑥	-	④	-	⑧	-	-		
10	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧		
11	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	⑪	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	
12	①	-	⑤	-	③	-	⑦	-	⑪	-	②	-	⑥	-	⑩	-	④	-	⑧	⑫

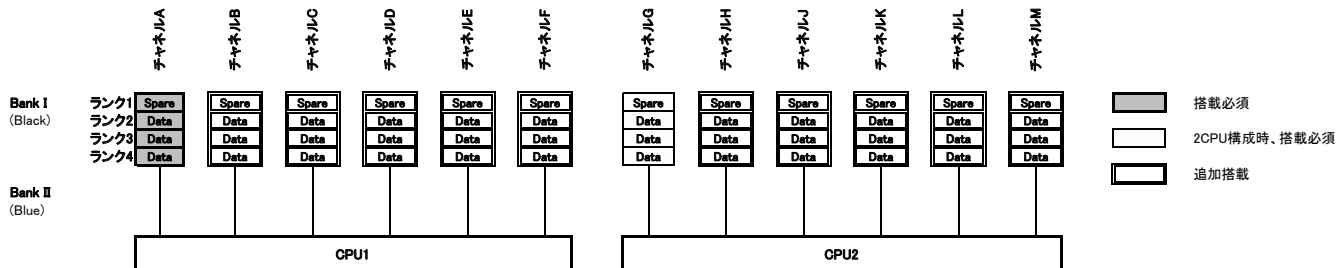
○内数字：搭載順、-：メモリ非搭載

#### 【DIMMの搭載位置】

##### <Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>



##### <Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### 【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
- (2) 1DPC構成のみサポートします(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
- (3) 各CPUには、6枚の同一DIMMを搭載する必要があります。
  - ① 1CPU構成は、同一DIMM 6枚単位
  - ② 2CPU構成は、同一DIMM 12枚単位
- (4) 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- (5) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1))では、SDDC機能は未サポートです。

### 【DIMMの搭載順】

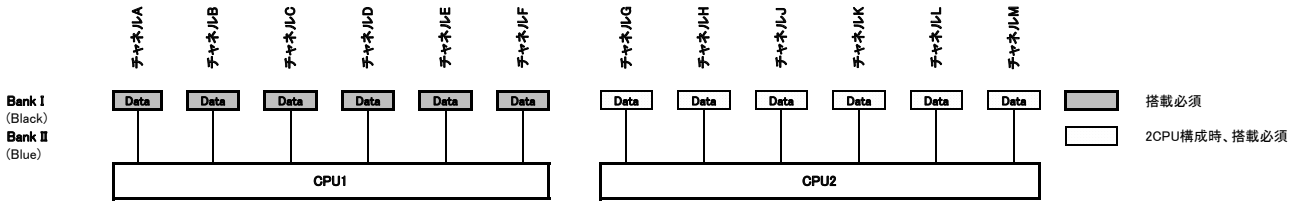
#### ■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1										
チャンネル	A	B	C	D	E	F					
スロット	1A	2A	1B	-	1C	1D	2D	1E	-	1F	-
DIMMs											
6	①	-	③	-	⑤	-	②	-	④	-	⑥

#### ■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2																
チャンネル	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M											
スロット	1A	2A	1B	-	1C	1D	2D	1E	-	1F	-	1G	2G	1H	-	1J	-	1K	2K	1L	-	1M	-
DIMMs																							
12	①	-	③	-	⑤	-	②	-	④	-	⑥	-	⑦	-	⑨	-	⑩	-	⑪	-	⑧	-	⑫

### 【DIMMの搭載位置】



### 【ミラーチャンネルモード】※CX2560 M5のみ

- (1) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- (2) 1DPC構成のみサポートします(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
- (3) 各CPUには最低2枚の同一DIMMを搭載する必要があります。
- (4) ミラーチャンネルモード設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載可能です。
- (5) 2CPU構成の場合、CPU1とCPU2のメモリ構成は同一構成のみサポートします。
- (6) Single Rank × 8(メモリ-8GB(8GB 2933 RDIMM × 1)、メモリ-96GB(8GB 2933 RDIMM × 12))、Dual Rank × 8(メモリ-16GB(16GB 2933 RDIMM × 1))では使用できません。

### 【DIMMの搭載順】

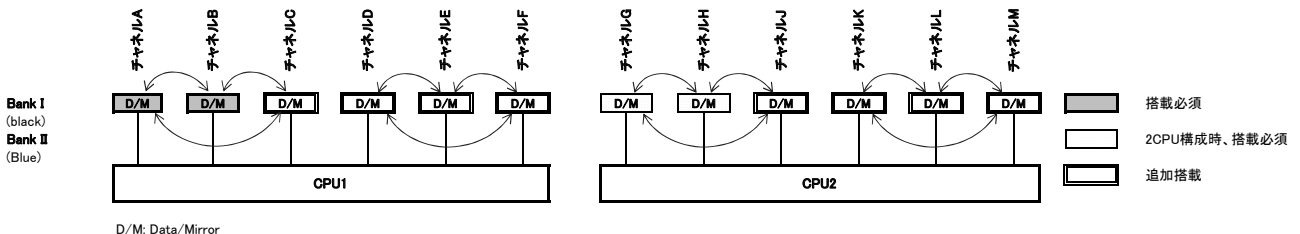
#### ■物理CPU1個構成時

CPU	CPU1										
チャンネル	A	B	C	D	E	F					
スロット	1A	2A	1B	-	1C	1D	2D	1E	-	1F	-
DIMMs											
2	①	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-
3	①	-	②	-	③	-	-	-	-	-	-
4	①	-	②	-	-	③	-	④	-	-	-
6	①	-	②	-	③	-	④	-	⑤	-	⑥

#### ■物理CPU2個構成時

CPU	CPU1						CPU2																
チャンネル	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M											
スロット	1A	2A	1B	-	1C	1D	2D	1E	-	1F	-	1G	2G	1H	-	1J	-	1K	2K	1L	-	1M	-
DIMMs																							
4	①	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	③	-	④	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	①	-	②	-	③	-	-	-	-	-	-	④	-	⑤	-	⑥	-	-	-	-	-	-	-
8	①	-	②	-	-	③	-	④	-	-	-	⑤	-	⑥	-	-	-	⑦	-	⑧	-	-	-
12	①	-	②	-	③	-	④	-	⑤	-	⑥	-	⑦	-	⑧	-	⑨	-	⑩	-	⑪	-	⑫

### 【DIMMの搭載位置】



D/M: Data/Mirror

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### DCPMM関連

- ご使用の際は、以下のいずれかのメモリ構成を必ず満たす必要があります。
- また、DCPMM以外のメモリとDCPMMの容量比率(Ratio)が1:4~1:16以外の場合は、ADモード(\*)のみ使用可能です。
- (\*) MM (メモリモード): 通常のメモリと同様に、揮発性のメモリとして使用するモード。
- AD (App Direct)モード: 不揮発性のメモリとして使用するモード。

#### ■TX2550 M5の場合

【1CPUの場合】

メモリ構成		CPU1 (メモリスロット番号)						Ratio (DCPMM以外: DCPMM)	使用可能な モード
		1A	1B	1C	1D	1E	1F		
構成 1	1-1-1	16	16	128	16	16	128	1 : 4.0	MM, AD
構成 2	1-1-1	32	32	128	32	32	128	1 : 2.0	ADのみ
構成 3	1-1-1	64	64	128	64	64	128	1 : 1.0	ADのみ
構成 4	1-1-1	16	16	256	16	16	256	1 : 8.0	MM, AD
構成 5	1-1-1	32	32	256	32	32	256	1 : 4.0	MM, AD
構成 6	1-1-1	64	64	256	64	64	256	1 : 2.0	ADのみ

■:DCPMM

【2CPUの場合】

メモリ構成		CPU1 (メモリスロット番号)						CPU2 (メモリスロット番号)						Ratio (DCPMM以外: DCPMM)	使用可能な モード
		1A	1B	1C	1D	1E	1F	1G	1H	1J	1K	1L	1M		
構成 1	1-1-1	16	16	128	16	16	128	16	16	128	16	16	128	1 : 4.0	MM, AD
構成 2	1-1-1	32	32	128	32	32	128	32	32	128	32	32	128	1 : 2.0	ADのみ
構成 3	1-1-1	64	64	128	64	64	128	64	64	128	64	64	128	1 : 1.0	ADのみ
構成 4	1-1-1	16	16	256	16	16	256	16	16	256	16	16	256	1 : 8.0	MM, AD
構成 5	1-1-1	32	32	256	32	32	256	32	32	256	32	32	256	1 : 4.0	MM, AD
構成 6	1-1-1	64	64	256	64	64	256	64	64	256	64	64	256	1 : 2.0	ADのみ

■:DCPMM

#### ■RX2530 M5/RX2540 M5/RX4770 M5の場合

【1CPUの場合】

メモリ構成		CPU1 (メモリスロット番号)												Ratio (DCPMM以外: DCPMM)	使用可能な モード
		A	B	C	D	E	F	2A	2B	2C	2D	2E	2F		
構成 1	2-2-2	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	16	128	1 : 8.0	MM, AD
構成 2	2-2-2	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	32	128	1 : 4.0	MM, AD
構成 3	2-2-2	64	128	64	128	64	128	64	128	64	128	64	128	1 : 2.0	ADのみ
構成 4	2-2-2	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	1 : 1.0	ADのみ
構成 5	2-2-2	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	16	256	1 : 16.0	MM, AD
構成 6	2-2-2	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	32	256	1 : 8.0	MM, AD
構成 7	2-2-2	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	64	256	1 : 4.0	MM, AD
構成 8	2-2-2	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	128	256	1 : 2.0	ADのみ
構成 9	2-2-2	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	64	512	1 : 8.0	MM, AD
構成 10	2-2-2	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	128	512	1 : 4.0	MM, AD
構成 11	2-2-1	16	128	16	0	16	128	16	128	16	0	16	0	1 : 5.3	MM, AD
構成 12	2-2-1	32	128	32	0	32	128	32	128	32	0	32	0	1 : 2.7	ADのみ
構成 13	2-2-1	64	128	64	0	64	128	64	128	64	0	64	0	1 : 1.3	ADのみ
構成 14	2-2-1	16	256	16	0	16	256	16	256	16	0	16	0	1 : 10.7	MM, AD
構成 15	2-2-1	32	256	32	0	32	256	32	256	32	0	32	0	1 : 5.3	MM, AD
構成 16	2-2-1	64	256	64	0	64	256	64	256	64	0	64	0	1 : 2.7	ADのみ
構成 17	2-2-1	64	512	64	0	64	512	64	512	64	0	64	0	1 : 5.3	MM, AD
構成 18	2-1-1	16	128	16	0	16	128	16	0	16	0	16	0	1 : 2.7	ADのみ
構成 19	2-1-1	32	128	32	0	32	128	32	0	32	0	32	0	1 : 1.3	ADのみ
構成 20	2-1-1	64	128	64	0	64	128	64	0	64	0	64	0	1 : 0.7	ADのみ
構成 21	2-1-1	16	256	16	0	16	256	16	0	16	0	16	0	1 : 5.3	MM, AD
構成 22	2-1-1	32	256	32	0	32	256	32	0	32	0	32	0	1 : 2.7	ADのみ
構成 23	2-1-1	64	256	64	0	64	256	64	0	64	0	64	0	1 : 1.3	ADのみ
構成 24	1-1-1	16	0	16	0	128	0	16	0	16	0	128	0	1 : 4.0	MM, AD
構成 25	1-1-1	32	0	32	0	128	0	32	0	32	0	128	0	1 : 2.0	ADのみ
構成 26	1-1-1	64	0	64	0	128	0	64	0	64	0	128	0	1 : 1.0	ADのみ
構成 27	1-1-1	16	0	16	0	256	0	16	0	16	0	256	0	1 : 8.0	MM, AD
構成 28	1-1-1	32	0	32	0	256	0	32	0	32	0	256	0	1 : 4.0	MM, AD
構成 29	1-1-1	64	0	64	0	256	0	64	0	64	0	256	0	1 : 2.0	ADのみ
構成 30	2-2-1	16	16	16	16	128	0	16	16	16	16	128	0	1 : 2.0	ADのみ
構成 31	2-2-1	32	32	32	32	128	0	32	32	32	32	128	0	1 : 1.0	ADのみ
構成 32	2-2-1	64	64	64	64	128	0	64	64	64	64	128	0	1 : 0.5	ADのみ
構成 33	2-2-1	16	16	16	16	256	0	16	16	16	16	256	0	1 : 4.0	ADのみ
構成 34	2-2-1	32	32	32	32	256	0	32	32	32	32	256	0	1 : 2.0	ADのみ
構成 35	2-2-1	64	64	64	64	256	0	64	64	64	64	256	0	1 : 1.0	ADのみ
構成 36	2/1-1-1	32	128	32	0	32	0	32	0	32	0	32	0	1 : 0.7	ADのみ
構成 37	2/1-1-1	64	128	64	0	64	0	64	0	64	0	64	0	1 : 0.3	ADのみ

■:DCPMM







## バックアップ装置関連事項

## バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

## ■ OS標準バックアップユーティリティ対応表

バックアップ装置 装置型名 規格	適用OS	Windows系					Linux系			
		WS12S/D	WS12F	WS12RS/D/F/E WSS12RS	WS16S/D/E WSS16S	WS19S/D/E WSS19SS	RHEL7(Incl64)	RHEL8(Incl64)	SLES 12 (x86_64)	SLES 15 (x86_64)
	バックアップユーティリティ	Windows Server Backup					Linux Command (*1)			
RDX装置 PY-RD111 PYBRD111 PY-RD112 PYBRD112	RDX USB 3.0	▲	▲	▲	▲	▲	○	○	○	○
		▲	▲	▲	▲	▲	○	○	○	○
LTO装置 PY-LT611 PYBLT611 PY-LT711 PYBLT711	LTO Ultrium6	×	×	×	×	×	○	○	○	○
	LTO Ultrium7	×	×	×	×	×	○	○	○	○

○: 対応

×: 未対応

●: 対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)

△: サーバのオンボードUSB2.0ポートとの組み合わせはサポート。ただし、増設用USB3.0ポートとの組み合わせは未サポート

▲: 内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)の設定が、「Fixed Disk」モードの場合のみサポート

—: OS組合せなし

(\*1) 最新対応状況につきましては、当社ホームページ( <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html> )をご参照ください。

## 留意事項

- 内蔵バックアップ装置(RDX装置を除く)をWindows OSでご使用になる場合は、別途バックアップソフトウェアが必要です。
- 内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)を Windows Server Backup でご使用になる場合は、「RDX Utility for Windows」のインストールが必要です。「RDX Utility for Windows」は、当社ホームページ( <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/> )から入手可能です。
- 内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)をWindows Server Backupでご使用になる場合、本装置の設定は必ず「Fixed Disk」モードでご使用ください。「Fixed Disk」モードは、内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)をWindows Server Backupで使用可能にするための専用モードです。
- 内蔵データカートリッジドライブユニット(RDX装置)をバックアップソフトウェアでご使用になる場合は、「RDX Utility for Windows」をインストールしないでください。
- Linuxコマンドをご使用になる場合は、tar、cpio、ddをご使用ください。
- OS標準のバックアップユーティリティを使用した場合、バックアップ装置の性能を十分に引き出せないことがあります。

## ■ Arcserve対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とArcserveの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とArcserveの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。

当社ホームページ( <https://www.fujitsu.com/jp/software/arcserve/> )

バックアップ装置 装置型名 規格	適用OS	WS12S/D/F		WS12RS/D/F/E WSS12RS		WS16S/D/E WSS16S		WS19S/D/E WSS19SS	
		Arcserve Backup r17.5 / Arcserve UDP v6.5	Arcserve Backup r18.0 / Arcserve UDP v7.0	Arcserve Backup r17.5 / Arcserve UDP v6.5	Arcserve Backup r18.0 / Arcserve UDP v7.0	Arcserve Backup r17.5 / Arcserve UDP v6.5	Arcserve Backup r18.0 / Arcserve UDP v7.0	Arcserve Backup r18.0 / Arcserve UDP v7.0	Arcserve Backup r18.0 / Arcserve UDP v7.0
RDX装置 PY-RD111 PYBRD111 PY-RD112 PYBRD112	RDX USB 3.0	○	○	○	○	○	○	○	○
		○	○	○	○	○	○	○	○
LTO装置 PY-LT611 PYBLT611 PY-LT711 PYBLT711	LTO Ultrium6	○	○	○	○	○	○	○	○
	LTO Ultrium7	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 対応

×: 未対応

●: 対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)

—: OS組合せなし

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### ■ NetVault Backup for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの対応について記します。  
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。  
 当社ホームページ( <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/netvault/> )

バックアップ装置 装置型名 規格		適用OS	WS12S/D/F					WS12RS/D/F/E WSS12RS					WS16S/D					WS19S/D					
			NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 12.3	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 12.3	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 12.3	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 12.3	
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-RD112 PYBRD112		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
LTO 装置	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	PY-LT711 PYBLT711	LTO Ultrium7	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○: 対応  
 ×: 未対応  
 -: OS組合せなし

(\*) NetVault Backup 11のバッチモジュール NetVault Backup 11.4の適用が必要です。

### ■ Backup Exec対応表

PRIMERGYシリーズに接続されているバックアップ装置とBackup Execの対応について記します。  
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とBackup Execの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。  
 当社ホームページ( <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/veritas/be/> )

バックアップ装置 装置型名 規格		適用OS	WS12S/D/F/E					WS12RS/D/F/E WSS12RS					WS16S/D WSS16S		WS19S/D
			Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 15	Backup Exec 16	Backup Exec 20	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 15	Backup Exec 16	Backup Exec 20	Backup Exec 16	Backup Exec 20	Backup Exec 20
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0 (*1)	×	◎ (*2) (*3)	◎ (*2)	◎ (*3)	◎ (*3)	×	◎ (*2) (*3) (*4)	◎ (*2)	◎	◎	◎	◎	◎ (*7)
	PY-RD112 PYBRD112		×	◎ (*2) (*3)	◎ (*2)	◎ (*3)	◎ (*3)	×	◎ (*2) (*3) (*4)	◎ (*2)	◎	◎	◎	◎	◎ (*7)
LTO 装置	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	○ (*3)	○ (*5)	○ (*5)	○ (*5)	×	○ (*3) (*4)	○ (*5)	○ (*5)	○ (*5)	○ (*5)	○ (*5)	○ (*7)
	PY-LT711 PYBLT711	LTO Ultrium7	×	×	○ (*5) (*6)	○ (*5)	○ (*5)	×	×	○ (*5) (*6)	○ (*5)	○ (*5)	○ (*5)	○ (*5)	○ (*7)

○: 対応  
 ×: 未対応  
 ◎: 対応(ただし、当社提供のUSBドライバの適用必須)  
 -: OS組合せなし

- (\*)1 媒体(Data Cartridge RDX)をまたがるシステムバックアップは未サポート。
- (\*)2 SDRIによるリストアは未サポート。
- (\*)3 Datacenter は未サポート。
- (\*)4 Backup Exec 2014 SP1以降でサポート。
- (\*)5 Datacenter の場合、SDRIによるリストアは未サポート。
- (\*)6 Feature Pack 1以降の適用必須。
- (\*)7 Backup Exec 20.4 以降の適用必須。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Linux対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの対応について記します。  
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。  
 当社ホームページ( <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/netvault/> )

バックアップ装置 装置型名 規格		適用OS	RHEL7(Intel64)					RHEL8(Intel64)					SLES 12 (x86_64)					SLES 15 (x86_64)					
		NetVault Backup 版数	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 12.3	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 12.3	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 12.3	NetVault Backup 10.0	NetVault Backup 11.0	NetVault Backup 11.3	NetVault Backup 12.0	NetVault Backup 12.3	
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○ (*1)	○ (*1)	×	×	×	×	×
	PY-RD112 PYBRD112		○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○ (*1)	○ (*1)	×	×	×	×	×
LTO 装置	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○ (*1)	○ (*1)	×	×	×	×	×	
	PY-LT711 PYBLT711	LTO Ultrium7	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○ (*1)	○ (*1)	×	×	×	×	×	

- : 対応
- ×: 未対応
- : OS組合せなし

(\*1) SLES 12 SP2、SP3でサポート。

## iRMC(リモートマネジメントコントローラ)関連

- 標準搭載のiRMC(リモートマネジメントコントローラ)やオプションのSASコントローラカード/SASアレイコントローラカードを搭載することにより、使用OSに依存せず、「Agentレス」管理LAN(業務LAN非使用)にて、ストレージ/RAIDの状態監視が可能です。専用のソフトウェア(ServerView Agents等)を導入する必要がないため、CPUやメモリリソースを消費せず、業務アプリケーションへのリソース配置の最適化が可能となります。
- 本機能を使用可能な機種/オプション構成は下表のとおりです。  
機種により選択可能なストレージコントローラ型名は異なりますので、システム構成図等でご確認ください。

機種	搭載するストレージコントローラ			JX40 S2/JX60 S2接続
	オンボード	SASコントローラカード	SASアレイコントローラカード	SASアレイコントローラカード
	・SATAコントローラ	・PY-SC3FA/PYBSC3FA ・PY-SC3FA3V/PYBSC3FA3V	・PY-SR3FA/PYBSR3FA ・PY-SR3C41H/PYBSR3C41H ・PY-SR3C42H/PYBSR3C42H ・PY-SR3C43H/PYBSR3C43H ・PY-SR3C52/PYBSR3C52/PYBSR3C52L ・PY-SR3C54/PYBSR3C54/PYBSR3C54L ・PY-SR3C55/PYBSR3C55L ・PYBSR3C56L ・PY-SR3C58/PYBSR3C58/PYBSR3C58L ・PYBSR3C59L	・PY-SR3PE/PYBSR3PEL ・PY-SR3PE2/PYBSR3PE2L ・PY-SR3C5E/PYBSR3C5E/PYBSR3C5EL
RX1330 M4	○	○	◎	-
RX2520 M5	○	○	◎	◎
RX2530 M5	○	○	◎	◎
RX2540 M5	3.5インチ	○	◎	◎
	2.5インチ	-	◎	◎
RX4770 M5	-	○	◎	◎
TX1320 M4	○	○	◎	-
TX1330 M4	○	○	◎	-
TX2550 M5	○	○	◎	◎
CX2550 M5	○	○	◎	◎
CX2560 M5	○	○	◎	◎
CX2570 M4	○	○	◎	◎

◎: ストレージ/RAID監視可能、○: ストレージ監視可能、×: 不可、-: 対象構成無し(非サポート構成)

- 詳細な監視対象/設定方法等につきましては、下記当社ホームページに掲載の「マニュアル」をご確認ください。

## ■ 当社ホームページ:

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/> →

「ServerView Suiteのマニュアル」→「MANUALS」→「x86 Servers」→「Software」→「ServerView Suite」→「Out-Of-Band Management」

## セキュリティチップ(TPM)およびインテルトラステッド・エグゼキューション・テクノロジー(インテル® TXT)のサポートについて

RX2520 M5/RX2530 M5/RX2540 M5/RX4770 M5/TX1310 M3/TX2550 M5/CX2550 M5/CX2560 M5/CX2570 M4において、以下のとおりOS、TPM、BIOSの種類によりTPMおよびインテル® TXTのサポートが異なりますので、ご注意願います。

OS	インテルTXT: 設定なし TPM 1.2を使用 BIOS: レガシーまたはUEFIモード		インテルTXT: 設定なし TPM 2.0を使用 BIOS: UEFIモードのみ		インテルTXT: 設定あり TPM 1.2を使用 BIOS: レガシーモードのみ		インテルTXT: 設定あり TPM 2.0を使用 BIOS: UEFIモードのみ	
	PY-TPM03 PYBTPM03	PYBTPM10	PY-TPM05 PYBTPM05	PY-TPM09 (*2) PYBTPM09	PY-TPM03 PYBTPM03	PYBTPM10	PY-TPM05 PYBTPM05	PY-TPM09 PYBTPM09
Windows Server 2019	×	×	×	○	×	×	×	×
Windows Server 2016	○	○	○	○	×	×	×	×
Windows Server 2012 R2	○	○	○	○	×	×	×	×
Windows Server 2012	○	-	○	-	×	-	×	-
Red Hat Enterprise Linux 8.1	×	×	×	×	×	×	×	×
Red Hat Enterprise Linux 8.0	×	×	×	×	×	×	×	×
Red Hat Enterprise Linux 7.7	×	○	×	×	×	×	×	×
Red Hat Enterprise Linux 7.6	×	○	×	×	×	×	×	×
Red Hat Enterprise Linux 7.5	×	○	×	×	×	×	×	×
Red Hat Enterprise Linux 7.4	×	○	×	×	×	×	×	×
Red Hat Enterprise Linux 7.3	×	○	×	×	×	×	×	×
SUSE Linux Enterprise Server 15	×	×	×	×	×	×	×	×
SUSE Linux Enterprise Server 12	○ (*1)	○ (*1)	×	×	×	×	×	×
VMware ESXi 6.7	×	×	×	○	×	×	×	○
VMware ESXi 6.5 以前	×	×	×	×	×	×	×	×

○: サポート ×: 非サポート -: 対象構成無し

(\*1) SP2以降でサポート。

(\*2) PY-TPM09を手配した場合はTPM2.0で出荷されますので、TPM1.2で使用する場合はダウンロードサイトより対応ファームウェアを入手して適用してください。

故障などにより交換された場合においても同様にお客様に対応ファームウェアを適用してください。

Windows Serverでは、TPM2.0でご使用ください。

※ BIOSファームウェアをアップデートする際は、BIOS設定画面にてインテル® TXTの設定を無効にする必要があります。

※ 制限留意事項については当社ホームページ( <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/> )のサーバ本体の個別マニュアル「ご使用上の留意・注意事項」も併せてご確認ください。

※ セキュリティチップ(TPM)の証明書が必要な場合は、TPMの提供元(Infinion社)より入手していただく必要があります。

詳細については、当社ホームページ( <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/pg-option/> )をご参照ください。

## Windows関連事項

## Windows Server OSの使用権について

- Windows Server OSについては、ダウングレード/ダウンエディション権があります。
- Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008における適用可能な組合せの考え方は下表のとおりです。
- ダウングレード例: Windows Server® 2019>Windows Server® 2016>Windows Server® 2012 R2>Windows Server® 2012>Windows Server® 2008 R2  
>Windows Server® 2008
- ダウンエディション例: Datacenter>Enterprise>Standard>Essentials>Foundation

		ダウングレード/ダウンエディション可能な組合せ																		
		WS19S	WS19D	WS19E	WS16S	WS16D	WS16E	WS12RS	WS12RD	WS12RF	WS12RE	WS12S	WS12D	WS12E	WS08RS	WS08RE	WS08RD	WS08S -32/64	WS08E -32/64	WS08D -64
保 有 ラ イ セ ン ス	WS19S	-	x	○	○	x	○	○	x	○(*1)	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x
	WS19D	○	-	○	○	○	○	○	○	○(*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS19E	x	x	-	x	x	○	x	x	○(*1)	○	x	x	○	x	x	x	x	x	x
	WS16S	x	x	x	-	x	○	○	x	○(*1)	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x
	WS16D	x	x	x	○	-	○	○	○	○(*1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS16E	x	x	x	x	x	-	x	x	○(*1)	○	x	x	○	x	x	x	x	x	x
	WS12RS	x	x	x	x	x	x	-	x	x	○	○	x	○	○	○	x	○	○	x
	WS12RD	x	x	x	x	x	x	○	-	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS12S	x	x	x	x	x	x	x	x	x	-	x	-	○	○	○	x	○	○	x
	WS12D	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	-	x	○	○	○	○	○	○	○
	WS08RS	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	-	x	x	○	x	x
	WS08RE	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	-	x	○	○	x
	WS08RD	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	-	○	○	○
	WS08S-32/64	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	-	x	x
	WS08E-32/64	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	-	x
WS08D-64	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	-	

○:可能、x:不可、-:対象外

(\*1) OEMの場合のみ、Foundationの利用が可能

- ダウングレード/ダウンエディション権を行使する場合、お客様がダウングレードして使用するバージョンのメディアとプロダクトキーを所有している必要があります。
- Windows Server 2019 ダウングレード権の詳細は、「マイクロソフトソフトウェアアライアンス条項」を参照してください。
- マイクロソフトソフトウェアアライアンス条項については、以下マイクロソフト社ホームページからご確認ください。
- マイクロソフト社ホームページ( <https://www.microsoft.com/ja-jp/useterms> )

## OSをサーバ本体と同時契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプションの提供方法について

- 選択するOSオプション型名に応じて、インストール/バンドル(OS媒体添付)を選択可能です。
- Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 は、64bit版のみの提供となります。

## Windows Server® 2016へのダウングレードサービスについて

- 本サービスは、Windows Server® 2019に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2016をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、富士通が代行するサービスです。
- Windows Server® 2016へのダウングレードサービス付き製品の提供形態は下記のとおりです。
  - 本製品には、Windows Server® 2019のOS媒体に加え、Windows Server® 2016のOS媒体も同梱されます。さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2016のインストール作業を代行します。
  - 製品貼り付けのCOAシール(プロダクトキーが記載されているシール)は、Windows Server® 2019用となります。Windows Server® 2016ではご使用できません。CAL(クライアントアクセスライセンス)は製品に添付されていないので、使用する環境に応じて、Device CAL/User CALを別途手配する必要があります。
  - 本製品にはWindows Server® 2019のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2016から切り替えての使用が可能です。ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2019の動作状況をご確認のうえ、ご適用ください。

## Windows Server® 2012 R2へのダウングレードサービスについて

- 本サービスは、Windows Server® 2019に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2012 R2をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、富士通が代行するサービスです。
- Windows Server® 2012 R2へのダウングレードサービス付き製品の提供形態は下記のとおりです。
  - 本製品には、Windows Server® 2019のOS媒体に加え、Windows Server® 2012 R2のOS媒体も同梱されます。さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2012 R2のインストール作業を代行します。
  - 製品貼り付けのCOAシール(プロダクトキーが記載されているシール)は、Windows Server® 2019用となります。Windows Server® 2012 R2ではご使用できません。CAL(クライアントアクセスライセンス)は製品に添付されていないので、使用する環境に応じて、Device CAL/User CALを別途手配する必要があります。
  - 本製品にはWindows Server® 2019のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2012 R2から切り替えての使用が可能です。ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2019の動作状況をご確認のうえ、ご適用ください。

## Windows Server OSメディアキットについて

- Windows Server OSメディアキットは、Windows OSをダウングレード/ダウンエディションして使用する場合に必要となる「インストールメディア/プロダクトキー」です。「メディアキット」にはライセンスは含まれておりませんので、Windows Server OS ライセンスが含まれているWindows Server OS インストール/バンドルオプションと同時にご購入/されるお客様へのみ提供可能となります。「メディアキット」のみでの手配はできません。手配上の、組み合わせ詳細については、「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて」をご参照ください。

## Windows OSサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したWindowsサポートサービス「SupportDesk」です。専門技術者によるWindows OSサポート(電話によるQ&A対応/問題解決支援など)、Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)を行います。提供ラインナップ詳細は下表のとおりです。

	SupportDesk Standard (Windows Server Standard)	SupportDesk Standard (Windows Server Standard 仮想化対応)	SupportDesk Standard (Windows Server Datacenter 仮想化対応)
サービス期間	3年/4年/5年	3年/4年/5年	3年/4年/5年
サービス時間帯	平日/24時間365日	平日/24時間365日	平日/24時間365日
サポート対象範囲	ホストOS	ホストOS/ゲストOS	ホストOS/ゲストOS
ホスト対象OS(*1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard</li> <li>Windows Server® IoT 2019 for Storage Standard</li> <li>Windows® Storage Server 2016 / 2012 R2 Standard</li> <li>Windows Server® 2012 R2 / 2012 Foundation</li> <li>Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 Essentials</li> <li>Windows Server® 2008 R2 / 2008 Enterprise (*3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard</li> <li>Windows Server® IoT 2019 for Storage Standard</li> <li>Windows® Storage Server 2016 / 2012 R2 Standard</li> <li>Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 Essentials</li> <li>Windows Server® 2008 R2 / 2008 Enterprise (*3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard</li> <li>Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Datacenter</li> <li>Windows Server® 2008 R2 / 2008 Enterprise</li> </ul>
ゲスト対象OS	-	※ホストOS/ゲストOSの組み合わせは、富士通でサポート可能な組み合わせに限る。(*2)	※ホストOS/ゲストOSの組み合わせは、富士通でサポート可能な組み合わせに限る。(*2)
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門技術者によるOSサポート(電話によるQ&amp;A対応/問題解決支援など)</li> <li>Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)</li> </ul>		

(\*1) サポート可能なOSは使用するサーバのサポートOSに準じます。

(\*2) 詳細については、「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。

(\*3) Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 Standard からのダウングレード利用時のみ対象です。

## マイクロソフト社製ソフトウェア製品使用時の留意事項について

- サービスプロバイダ様がマイクロソフト社製ソフトウェア製品を利用したサービス(例:ASP/SaaS、アウトソーシング、ホスティング等)を第三者(エンドユーザー様)に提供する場合、「サービスプロバイダライセンス(SPLA)」というライセンス体系が適用されます。そのため、サーバ本体と同時契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品をご利用になる場合には、上記のサービスを第三者(エンドユーザー様)に提供することはできませんので、ご注意ください。ただし、ハウジングサービス(サービス利用者様がライセンスを資産として所有)において、ご利用になるサーバがサービス利用者様のみの使用である場合に限り、サーバ本体と同時契約し、サーバ本体にインストールまたはバンドルしてお届けするライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品のライセンス体系を適用することが可能です。
- OSインストールには、ODDドライブが必要となります。内蔵ODDを搭載しない場合は、複数台システムに最低1台、スーパーマルチドライブユニットを手配する必要があります。
- Windows Server® 2019 / 2016 / 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 をインストールするためには、33GB以上の論理ボリュームが必要となります。
- PRIMERGYでパッケージ製品の「Windows Server® 2012 R2」をお使いになる場合には、KB2883200のHotfixを適用いただく必要があります。Hotfixの適用方法については、以下マイクロソフト社ホームページからご確認ください。  
マイクロソフト社 ホームページ ( <https://support.microsoft.com/ja-jp/help/2883200/windows-8-1-and-windows-server-2012-r2-general-availability-update-rol> )
- Windows Server® 2016 / 2012 R2 Standard, Datacenter, Essentials または Windows Server® 2012 Essentialsに含まれるWindows Server Essentials のバックアップ機能を使用する場合は、2台以上の内蔵ストレージ(もしくはロジカルドライブ)が必要となります。
- その他留意事項に関する最新情報は、当社ホームページ( <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/> )をご確認ください。

## Windows Serverの最新情報について

- マイクロソフト社はイベントMicrosoft Igniteにおいて、「Microsoft® Windows Server® 2019」を発表しました。富士通における対応状況については当社ホームページ「Microsoft® Windows Server® 2019の動作確認情報」( <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/2019/> )をご参照ください。
- マイクロソフト社は、2017年10月より、Windows Serverの新しいリリースモデルとして「半期チャネル」の提供を開始しました。半期チャネルは、ソフトウェア アシュアランスをご利用のお客様を対象に、年2回、コンテナアプリケーションやコンテナホスト向けの最新機能を提供するリリースプログラムです。“Server Core”、“Nano Server”のみでのご利用に限定されます。PRIMERGYにおける半期チャネルの最新の対応状況や留意事項は当社ホームページ「富士通のWindows情報」( <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/> )をご参照ください。



## Linux関連事項

## Red Hat Enterprise Linuxのサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したLinuxサポートサービス「SupportDesk」をご提供します。
- Red Hat Enterprise LinuxのSupportDeskは年額払いのOS単体サポート商品としてご提供していますが、一部のラインナップでは一括払いでPRIMERGYと同時手配可能なオプションをご提供します。
- オプション提供品のラインナップ詳細は下表のとおりです。

	SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)				SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート)				
	1ゲスト(*3)	4ゲスト(*3)	VDC ゲスト無制限 (ゲスト専用)	2ゲスト (ゲスト専用)	1ゲスト(*3)	4ゲスト(*3)	VDC ゲスト無制限 (ゲスト専用)	2ゲスト (ゲスト専用)	
サービス期間	1/3/4/5年	3/4/5年	3/4/5年	3/4/5年	5年				
サービス時間帯	平日/24時間365日				平日/24時間365日				
サポート 範囲	物理CPU数 (Socket数)	~2	~2	~2	無制限	~2	~2	~2	無制限
	RHELゲスト OS数	~1	~4	無制限	~2	~1	~4	無制限	~2
使用可能 ハイパーバイザ	RHEL仮想マシン機能			Hyper-V VMware		RHEL仮想マシン機能		Hyper-V VMware	
サポートOS(*1)(*2)	Red Hat Enterprise Linux				Red Hat Enterprise Linux				
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&amp;A対応/問題解決支援など)</li> <li>• Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)</li> <li>• プロダクトIDの入手手続き代行</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>• 専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&amp;A対応/問題解決支援など)</li> <li>• Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)</li> <li>• プロダクトID(EUSサービスを含む)の入手手続き代行</li> </ul>				

(\*1) 対象版数については、当社ホームページ( <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html> )をご参照ください。

(\*2) 仮想環境におけるサポートOSの組み合わせについては、「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。

(\*3) 同時起動仮想マシン数は、RHEL以外の他OSを含めて4以下に制限されます。5ゲスト以上動作させる場合は、年額払いの拡張プラスサポート「RHEL Server [PG 2CPU/ゲスト無制限]」を別途ご契約ください。

• 詳細はシステム構成図(サービスイ覧)の「SupportDesk StandardにおけるRed Hat Enterprise Linuxのサポートについて」をご参照ください。

## Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションについて

- Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションはインストール媒体のみの提供となります。
- サブスクリプション(利用権)の同時手配が必要となるため、工場出荷時に機器と同時手配するSupportDesk Standard/Standard24(Red Hat Enterprise Linux) [PYBで始まるカスタムメイド型名]との同時手配必須となります(Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションのみでの手配はできません)。
- OSはインストールされません。添付のDVD(Install DVD Kit)とServerView Suiteを用いてインストールしてください。
- Red Hat Enterprise Linux 媒体バンドルオプションを手配しない場合、インストールイメージ(ISOファイル)をRed Hat Networkからダウンロードしてください。Red Hat Networkに、Red Hat Enterprise LinuxのSupportDesk契約者に提供していますプロダクトIDを登録することで、アクセス可能です。

## SUSE Linux Enterprise Serverのサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したSUSE Linuxサポートサービス「SupportDesk」をご提供します。
- SUSE Linux Enterprise ServerのSupportDeskは年額払いのOS単体サポート商品としてご提供しています。

## Linuxのサポート版数について

PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、当社ホームページ( <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html> )をご参照ください。

## Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ファイルシステムの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ファイルシステムの使用可能最大サイズが以下になります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ファイルシステムの最大サイズ(*1)		
		ext3/ext4	XFS	btrfs
Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)	12TB	16TB / 50TB	500TB	-
Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)	24TB	16TB / 50TB	1PB	-
SUSE Linux Enterprise Server 12 for AMD64 & Intel64	64TB	- / 1EB	8EB	16EB
SUSE Linux Enterprise Server 15 for AMD64 & Intel64	64TB	- / 1EB	8EB	16EB

(\*1) システムボリュームとして使用する場合は、2TB以下でご使用ください。

## Linux仮想環境におけるWindowsゲストインストール時のメディアについて

Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows OSをインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

## SUSE Linux Enterprise Server 15 インストール時のメディアについて

SUSE Linux Enterprise Server 15をインストールする場合、Installer DiskとPackages Diskの2種類のインストールメディアが必要になります。この内、Packages Diskは4.7Gbyteを超えるため、DVD-R/DVD-RW(片面1層)はご利用できません。DVD-R DL(片面2層)、または、USBメモリ(Packages Diskのisoイメージが格納できる容量以上)をご利用ください。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

## 仮想化機能について

サポート可能な仮想化機能は使用するOS、内蔵ストレージ構成により異なります。

機種名	RHEL7 / RHEL8			SLES 12 / SLES 15		
	オンボード(SATA) コントローラにて		左記以外の ストレージコントローラ 使用時	オンボード(SATA) コントローラにて		左記以外の ストレージコントローラ 使用時
	アレイ 接続時	非アレイ 接続時		アレイ 接続時	非アレイ 接続時	
RX1330 M4	×	○	○	×	○	○
RX2520 M5	×	-	○	×	-	○
RX2530 M5	×	-	○	×	-	○
RX2540 M5	×	-	○	×	-	○
RX4770 M5	-	-	○	-	-	○
TX1310 M3	×	○	-	×	○	-
TX1320 M4	×	○	○	×	○	○
TX1330 M4	×	○	○	×	○	○
TX2550 M5	×	-	○	×	-	○
CX2550 M5	×	○	○	×	○	○
CX2560 M5	×	○	○	×	○	○
CX2570 M4	×	○	○	×	○	○

○:可能 ×:不可 -:対象構成無し

## OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて

## OSオプションの略称、同時手配可能数について

・OSオプションの略称および手配可能数は下表のとおりです。OSオプションごとの組合せについては、「OSオプションの同時選択可否について」をご参照ください。

## ■ Windows

略称		品名		型名	手配可能数	
Windows	インストール	WS19S	Windows Server 2019 Standard(16コア) インストール	PYWPS9	1	35
		WS19S(Hyper-V)	Windows Server 2019 Standard(16コア/Hyper-V) インストール	PYWPS9H	1	
		WS16S(2019DG)	Windows Server 2019 Standard(16コア) ダウングレードサービス付き Windows Server 2016 Standard インストール	PYWPPDS6	1	
		WS12RS(2019DG)	Windows Server 2019 Standard(16コア) ダウングレードサービス付き Windows Server 2012 R2 Standard インストール	PYWPPDS32	1	
	バンドル	WS19S	Windows Server 2019 Standard(16コア) バンドル	PYBWS9	1	34
		WS19S Add(2Core)	Windows Server 2019 Standard Additional License(2コア)	PY-WAS9/PYBWS9	1	
		WS19S Add(4Core)	Windows Server 2019 Standard Additional License(4コア)	PY-WAS92/PYBWS92	3	
		WS19S Add(16Core)	Windows Server 2019 Standard Additional License(16コア)	PY-WAS93/PYBWS93	34	
	バンドル	WS19D	Windows Server 2019 Datacenter(16コア) バンドル	PYBWD9	1	7
		WS19D Add(2Core)	Windows Server 2019 Datacenter Additional License(2コア)	PYBWD9	1	
		WS19D Add(4Core)	Windows Server 2019 Datacenter Additional License(4コア)	PYBWD92	3	
		WS19D Add(16Core)	Windows Server 2019 Datacenter Additional License(16コア)	PYBWD93	6	
	インストール	WSI19SS(16Core)	Windows Server IoT 2019 for Storage Standard(16コア) インストール	PYBWPB9S	1	2
		WSI19SS(24Core)	Windows Server IoT 2019 for Storage Standard(24コア) インストール	PYBWPB9S2	1	
	バンドル	WSI19SS Add(16Core)	Windows Server IoT 2019 for Storage Standard Additional License(16コア) バンドル	PYBWAWS9S	1	
		WSI19SS Add(24Core)	Windows Server IoT 2019 for Storage Standard Additional License(24コア) バンドル	PYBWAWS9S2	1	
	インストール	WSS16S	Windows Storage Server 2016 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPWS6S	1	
	バンドル	DCAL1	Windows Server 2019 1 Device CAL	PYBWC01B	4	10
		DCAL5	Windows Server 2019 5 Device CAL	PYBWC05B	1	
		DCAL10	Windows Server 2019 10 Device CAL	PYBWC10B	4	
		DCAL50	Windows Server 2019 50 Device CAL	PYBWC50B	1	
		DCAL100	Windows Server 2019 100 Device CAL	PYBWC100B	10	
	バンドル	UCAL1	Windows Server 2019 1 UserCAL	PYBWC01B	4	10
		UCAL5	Windows Server 2019 5 UserCAL	PYBWC05B	1	
		UCAL10	Windows Server 2019 10 UserCAL	PYBWC10B	4	
		UCAL50	Windows Server 2019 50 UserCAL	PYBWC50B	1	
		UCAL100	Windows Server 2019 100 UserCAL	PYBWC100B	10	
	バンドル	RSDCAL1	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 1 Device CAL	PYBWC01J	4	10
		RSDCAL5	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 5 Device CAL	PYBWC05J	1	
		RSDCAL10	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 10 Device CAL	PYBWC10J	4	
		RSDCAL50	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 50 Device CAL	PYBWC50J	1	
		RSDCAL100	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 100 Device CAL	PYBWC100J	10	
	バンドル	RDSUCAL1	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 1 User CAL	PYBWC01J	4	10
		RDSUCAL5	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 5 User CAL	PYBWC05J	1	
		RDSUCAL10	Windows Server 2019 Remote Desktop Services 10 User CAL	PYBWC10J	4	
RDSUCAL50		Windows Server 2019 Remote Desktop Services 50 User CAL	PYBWC50J	1		
RDSUCAL100		Windows Server 2019 Remote Desktop Services 100 User CAL	PYBWC100J	10		
バンドル	SQL2019(サーバ/CAL)	Microsoft SQL Server 2019 Standard バンドル	PYBWBLS9	1	11	
	SQL2019(4Core)	Microsoft SQL Server 2019 Standard(4コア) バンドル	PYBWBLS91	1		
	SQL2019 Add(2Core)	Microsoft SQL Server 2019 Standard Additional License(2コア) バンドル	PYBWBLS92	10		
	SQL 2019 DCAL1	Microsoft SQL Server 2019 1 Device CAL	PYBWC01K	7	7	
	SQL 2019 DCAL5	Microsoft SQL Server 2019 5 Device CAL	PYBWC05K			
	SQL 2019 DCAL10	Microsoft SQL Server 2019 10 Device CAL	PYBWC10K			
	SQL 2019 UCAL1	Microsoft SQL Server 2019 1 User CAL	PYBWC01K	7		
	SQL 2019 UCAL5	Microsoft SQL Server 2019 5 User CAL	PYBWC05K			
	SQL 2019 UCAL10	Microsoft SQL Server 2019 10 User CAL	PYBWC10K			

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

## ■ Windows

略称		品名		型名	手配可能数	
Windows	バンドル (メディアオプション)	SQL2017	Microsoft SQL Server 2017 Standard メディアキット	PYBWL72	1	3
		SQL2016	Microsoft SQL Server 2016 Standard メディアキット	PYBWL62	1	
		SQL2014	Microsoft SQL Server 2014 Standard メディアキット	PYBWL43	1	
	バンドル (メディアオプション)	WS19S	Windows Server 2019 Standard メディアキット	PYBWS92	1	3
		WS16S	Windows Server 2016 Standard メディアキット	PYBWS62	1	
		WS16D	Windows Server 2016 Datacenter メディアキット	PYBWD62	1	
	インストール	WS19E	Windows Server 2019 Essentials インストール	PYBWPB9	1	
バンドル	WS19E	Windows Server 2019 Essentials バンドル	PYBWB9	1		

## ■ Linux/VMware

略称		品名		型名	手配可能数		
Linux	バンドル	RHEL8	Red Hat Enterprise Linux 8.1 媒体バンドル	PYBLB81	1	2	
			Red Hat Enterprise Linux 8.0 媒体バンドル	PYBLB80	1		
		RHEL7	Red Hat Enterprise Linux 7.7 媒体バンドル	PYBLB77	1	4	
			Red Hat Enterprise Linux 7.6 媒体バンドル	PYBLB76	1		
			Red Hat Enterprise Linux 7.5 媒体バンドル	PYBLB75	1		
	サポート	RHEL 基本 2CPU/1ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト	PYBSPR**02	(*1)	1	1
		RHEL 基本 2CPU/4ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト	PYBSPK**02	(*1)	1	
		RHEL VDC 基本	Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限(ゲスト専用)	PYBSPD**03	(*1)	1	
		RHEL 基本 2ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)	PYBSPN**02	(*1)	1	
		RHEL 拡張 2CPU/1ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト	PYBSPR5*E2	(*1)	1	
		RHEL 拡張 2CPU/4ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト	PYBSPK5*E2	(*1)	1	
		RHEL VDC 拡張	Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限(ゲスト専用)	PYBSPD5*E3	(*1)	1	
		RHEL 拡張 2ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)	PYBSPN5*E2	(*1)	1	
	VMware	バンドル	vS6S 1年平日	VMware vSphere 6 Standard, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL6SD2	4	4 (*2)
vS6S 1年24時間			VMware vSphere 6 Standard, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL6SA2	4		
vS6EP 1年平日			VMware vSphere 6 Enterprise Plus, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL6PD2	4		
vS6EP 1年24時間			VMware vSphere 6 Enterprise Plus, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL6PA2	4		
OS管理ソフト等		vCen6	1年平日	VMware vCenter Server 6 Standard, 1年間平日サポートバンドル	PYBVL6SD2	1	1
			1年24時間	VMware vCenter Server 6 Standard, 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL6SA2	1	
		vS6 M.2 6.7	VMware vSphere Hypervisor 6.7用 M.2 Flash モジュール(32GB)	VMware vSphere Hypervisor 6.7 Update2用 M.2 Flash モジュール(32GB)	PYBMF03NV3	1	1
				VMware vSphere Hypervisor 6.7 Update3用 M.2 Flash モジュール(32GB)	PYBMF03NV4	1	
				VMware vSphere Hypervisor 6.7 Update2用 M.2 Flash モジュール(240GB)	PYBMF24NV2	1	
				VMware vSphere Hypervisor 6.7 Update3用 M.2 Flash モジュール(240GB)	PYBMF24NV3	1	
				VMware vSphere Hypervisor 6.7 Update2用 デュアルマイクロSD Flash モジュール(64GB × 2, RAID1付)	PYBMD6404	1	
		vS6 DSD 6.7	VMware vSphere Hypervisor 6.7 Update3用 デュアルマイクロSD Flash モジュール(64GB × 2, RAID1付)	VMware vSphere Hypervisor 6.7 Update2用 デュアルマイクロSD Flash モジュール(64GB × 2, RAID1付)	PYBMD6405	1	
				VMware vSphere Hypervisor用 M.2 Flash モジュール(32GB)	PY-MF03NV2	1	
		M.2	VMware vSphere Hypervisor用 M.2 Flash モジュール(240GB)	VMware vSphere Hypervisor用 M.2 Flash モジュール(240GB)	PY-MF24NV/PYBMF24NVE	1 (*3)	
				デュアルマイクロSD Flash モジュール(64GB × 2, RAID1付)	PY-MD6401/PYBMD6401	1	

(\*1) 型名に使用されているアスタリスク(\*)は、基本/拡張サポート(Standard/Standard24)がすべて対象であることを示しています。

(\*2) 搭載する機器の物理CPU数までの手配となります。

(\*3) デュアルM.2 コントローラカード[PY-DMCP20/PYBDMCP20/PYBDMCP20L]手配時は2となります。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### OSオプションの同時選択可否について

・OSオプションを同時選択する際、組み合わせの可否は、以下のようになります  
 (機種により選択可能なOSオプションは異なりますので、樹系図表紙の「サポートOS」、および樹系図内の「OSオプション」をご確認のうえ、手配ください)。

#### ■ Windows

OSオプション		Windows														
		インストール							バンドル							
		WS19S	WS19S(Hyper-V)	WS19E	WS19SS(16Core)	WS19SS(24Core)	WS16S(2019DG)	WS16S	WS12RS(2019DG)	WS19S	WS19D	WS19E	WS19S Add(2/4/16Core)	WS19D Add(2/4/16Core)	WS19SS Add(16/24Core)	
Windows	インストール	WS19S	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	
		WS19S(Hyper-V)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x
		WS19E	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS19SS(16Core)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○
		WS19SS(24Core)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS16S(2019DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x
		WSS16S	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	バンドル	WS12RS(2019DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x
		WS19S	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x
		WS19D	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x
		WS19E	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS19S Add(2/4/16Core)	○	○	x	x	x	○	x	○	○	x	x	○	x	x
		WS19D Add(2/4/16Core)	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x
	メディアキット	WS19S	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x
		WS16S	○	○	x	x	x	x	○	○	○	x	○	○	○	x
		WS16D	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	○	x
	OS管理ソフト等	DCAL1/5/10/50/100	○	○	x	x	x	○	x	○	○	x	○	○	○	x
		UCAL1/5/10/50/100	○	○	x	x	x	○	x	○	○	x	○	○	○	x
		RSDCAL1/5/10/50/100	○	○	x	x	x	○	x	○	○	x	○	○	○	x
		RDSUCAL1/5/10/50/100	○	○	x	x	x	○	x	○	○	x	○	○	○	x
		SQL2019(サーバー/CAL)	○	○	○	x	x	○	x	○	○	○	○	○	○	x
		SQL2019(4Core)	○	○	○	x	x	○	x	○	○	○	○	○	○	x
		SQL2019 Add(2Core)	○	○	○	x	x	○	x	○	○	○	○	○	○	x
SQL2017		○	○	○	x	x	○	x	○	○	○	○	○	○	x	
SQL2016		○	○	○	x	x	○	x	○	○	○	○	○	○	x	
SQL2014		○	○	○	x	x	○	x	○	○	○	○	○	○	x	
SQL 2019 DCAL1/5/10		○	○	○	x	x	○	x	○	○	○	○	○	○	x	
SQL 2019 UCAL1/5/10		○	○	○	x	x	○	x	○	○	○	○	○	○	x	
Linux	バンドル	RHEL8.1 (*1)	○	○	x	x	x	○	x	x	○	○	x	○	○	x
		RHEL8.0 (*1)	○	○	x	x	x	○	x	x	○	○	x	○	○	x
		RHEL7.7 (*1)	○	○	x	x	x	○	x	○	○	x	○	○	○	x
		RHEL7.6 (*1)	○	○	x	x	x	○	x	○	○	x	○	○	○	x
		RHEL7.5 (*1)	x	x	x	x	x	○	x	○	x	x	x	x	x	x
VMware	バンドル	vS6S 1年平日	x	x	x	x	x	○	x	x	○	○	○	○	○	x
		vS6S 1年24時間	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	x
		vS6EP 1年平日	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	x
		vS6EP 1年24時間	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	x
	OS管理ソフト等	vCen6 1年平日	x	x	x	x	x	○	x	○	x	x	x	x	x	x
		vCen6 1年24時間	x	x	x	x	x	○	x	○	x	x	x	x	x	x
		vS6 M.2 6.7	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	x
		vS6 DSD 6.7	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	x
		M.2	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	x
DSD	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	x		

○:同時手配可、×:同時手配不可

(\*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(\*2) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows OSをインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### ■ Windows

OSオプション			Windows																
			メディアキット			OS管理ソフト等													
			WS19S	WS16S	WS16D	DCAL1/5/10/50/100	UCAL1/5/10/50/100	RDSDCAL1/5/10/50/100	RDSUCAL1/5/10/50/100	SQL2019(サーバー/CAL)	SQL2019(4Core)	SQL2019 Add(2Core)	SQL2017	SQL2016	SQL2014	SQL 2019 DCAL1/5/10	SQL 2019 UCAL1/5/10		
Windows	インストール	WS19S	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		WS19S(Hyper-V)	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS19E	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS19SS(16Core)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS19SS(24Core)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS16S(2019DG)	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WSS16S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	バンドル	WS12RS(2019DG)	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS19S	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS19D	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS19E	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS19S Add(2/4/16Core)	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS19D Add(2/4/16Core)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	メディアキット	WSI19SS Add(16/24Core)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS19S	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS16S	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	OS管理ソフト等	WS16D	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		DCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		UCAL1/5/10/50/100	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
		RDSDCAL1/5/10/50/100	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		RDSUCAL1/5/10/50/100	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
		SQL2019(サーバー/CAL)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
		SQL2019(4Core)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	
		SQL2019 Add(2Core)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	
		SQL2017	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
		SQL2016	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
		SQL2014	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
SQL 2019 DCAL1/5/10	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×			
SQL 2019 UCAL1/5/10	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×			
Linux	バンドル	RHEL8.1 (*1)	×	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
		RHEL8.0 (*1)	×	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
		RHEL7.7 (*1)	×	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
		RHEL7.6 (*1)	×	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
		RHEL7.5 (*1)	×	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		
VMware	バンドル	vS6S 1年平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		vS6S 1年24時間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		vS6EP 1年平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		vS6EP 1年24時間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	OS管理ソフト等	vCen6 1年平日	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		vCen6 1年24時間	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		vS6 M.2 6.7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		vS6 DSD 6.7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		M.2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
DSD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

○:同時手配可、×:同時手配不可

(\*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(\*2) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows OSをインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### Linux/VMware

OSオプション			Linux					VMware											
			バンドル					バンドル				OS管理ソフト等							
			RHEL8.1 (*1)	RHEL8.0 (*1)	RHEL7.7 (*1)	RHEL7.6 (*1)	RHEL7.5 (*1)	vS6S 1年平日	vS6S 1年24時間	vS6EP 1年平日	vS6EP 1年24時間	vCen6 1年平日	vCen6 1年24時間	vS6 M.2 6.7	vS6 DSD 6.7	M.2	DSD		
Windows	インストール	WS19S	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		WS19S(Hyper-V)	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS19E	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WSI19SS(16Core)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WSI19SS(24Core)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS16S(2019DG)	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×
		WSS16S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS12RS(2019DG)	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
	バンドル	WS19S	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
		WS19D	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
		WS19E	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
		WS19S Add(2/4/16Core)	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
		WS19D Add(2/4/16Core)	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
		WSI19SS Add(16/24Core)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	メディアキット	WS19S	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
		WS16S	×	×	○(*2)	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		WS16D	×	×	○(*2)	○(*2)	○(*2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	OS管理ソフト等	DCAL1/5/10/50/100	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		UCAL1/5/10/50/100	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		RDSDCAL1/5/10/50/100	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		RDSUCAL1/5/10/50/100	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		SQL2019(サーバ/CAL)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		SQL2019(4Core)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		SQL2019 Add(2Core)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		SQL2017	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		SQL2016	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		SQL2014	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		SQL 2019 DCAL1/5/10	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		SQL 2019 UCAL1/5/10	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Linux	バンドル	RHEL8.1 (*1)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
RHEL8.0 (*1)			○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
RHEL7.7 (*1)			○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
RHEL7.6 (*1)			○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
RHEL7.5 (*1)			○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
VMware	バンドル	vS6S 1年平日	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○		
		vS6S 1年24時間	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		
		vS6EP 1年平日	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○		
		vS6EP 1年24時間	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○		
	OS管理ソフト等	vCen6 1年平日	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○		
		vCen6 1年24時間	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○		
		vS6 M.2 6.7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×		
		vS6 DSD 6.7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×		
		M.2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×		
		DSD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	

○:同時手配可、×:同時手配不可

(\*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須。また、同一版数のバンドル媒体を複数手配することはできません。

(\*2) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows OSをインストールする場合、PRIMERGY 本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### OSオプションとSupportDeskの同時選択可否について

・OSオプションとハードウェア用SupportDesk、OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は、以下のようになります  
(機種により選択可能なOSオプション、SupportDeskは異なります)。

#### ■ ハードウェア用SupportDesk

OSオプション		SupportDesk	ハードウェア用SupportDesk														
			保証延長/バック 翌営業日以降訪問修理			SupportDesk/バック Standard/Standard24 (OSサポートなし)			SupportDesk/バック 保守交換ディスク引渡プラス/ 保守交換ディスク引渡プラス24 (OSサポートなし)			SupportDesk/バック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス/ BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス24 (OSサポートなし)			SupportDesk/バック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス/ BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス 24 (OSサポートなし)		
			3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
Windows	インストール	WS19S		○			○			○			○			○	
		WS19S(Hyper-V)		○			○			○			○			○	
		WS19E		○			○			○			○			○	
		WSI19SS(16Core)		○			○			○			○			○	
		WSI19SS(24Core)		○			○			○			○			○	
		WS16S(2019DG)		○			○			○			○			○	
		WSS16S		○			○			○			○			○	
	バンドル	WS12RS(2019DG)		○			○			○			○			○	
		WS19S		○			○			○			○			○	
		WS19D		○			○			○			○			○	
		WS19E		○			○			○			○			○	
		WS19S Add(2/4/16Core)		○			○			○			○			○	
		WS19D Add(2/4/16Core)		○			○			○			○			○	
		WSI19SS Add(16/24Core)		○			○			○			○			○	
	メディア キット	WS19S		○			○			○			○			○	
		WS16S		○			○			○			○			○	
		WS16D		○			○			○			○			○	
	OS管理 ソフト等	DCAL1/5/10/50/100		○			○			○			○			○	
		UCAL1/5/10/50/100		○			○			○			○			○	
		RSDCAL1/5/10/50/100		○			○			○			○			○	
		RDSUCAL1/5/10/50/100		○			○			○			○			○	
		SQL2019(サーバル/CAL)		○			○			○			○			○	
		SQL2019(4Core)		○			○			○			○			○	
		SQL2019 Add(2Core)		○			○			○			○			○	
		SQL2017		○			○			○			○			○	
		SQL2016		○			○			○			○			○	
		SQL2014		○			○			○			○			○	
Linux	バンドル	SQL 2019 DCAL1/5/10		○			○			○			○			○	
		SQL 2019 UCAL1/5/10		○			○			○			○			○	
RHEL8.1 (*1)			×			○			○			○			○		
RHEL8.0 (*1)			×			○			○			○			○		
RHEL7.7 (*1)			×			○			○			○			○		
VMware	バンドル	RHEL7.6 (*1)		×			○			○			○			○	
		RHEL7.5 (*1)		×			○			○			○			○	
vs6S 1年平日			×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)		
vs6S 1年24時間			×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)		
vs6EP 1年平日			×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)		
vs6EP 1年24時間			×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)		
OS管理 ソフト等		vCen6 1年平日		×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)	
		vCen6 1年24時間		×			○(*2)			○(*2)			○(*2)			○(*2)	
		vs6 M.2 6.7		○			○			○			○			○	
		vs6 DSD 6.7		○			○			○			○			○	
	M.2		○			○			○			○			○		
DSD		○			○			○			○			○			

○: 同時手配可 ×: 同時手配不可

(\*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(\*2) VMwareのOSオプションに付帯するサポート時間帯と、同一サポート時間帯のSupportDeskを選択した場合のみ同時手配可能



## システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

### ■ OS用SupportDesk

SupportDesk			OS用SupportDesk																		
			SupportDesk Standard/Standard24 (Windows Server)			SupportDesk Standard/Standard24 (Windows Server Standard 仮想化対応)			SupportDesk Standard/Standard24 (Windows Server Datacenter 仮想化対応)			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート(*3) 拡張サポート(*3) 2CPU/1ゲスト]			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート(*3) 拡張サポート(*3) 2CPU/4ゲスト]			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート(*3) 拡張サポート(*3) 2CPU/ゲスト無制限(ゲスト専用)]			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート(*3) 拡張サポート(*3) 2ゲスト(ゲスト専用)]
OSオプション			3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	1年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
Windows	インストール	WS19S	○			○			×			×			×			○			○
		WS19S(Hyper-V)	○			○			×			×			×			○			○
		WS19E	○			○			×			×			×			×			×
		WS19SS(16Core)	○			○			×			×			×			×			×
		WS19SS(24Core)	○			○			×			×			×			×			×
		WS16S(2019DG)	○			○			×			×			×			○			○
		WSS16S	○			○			×			×			×			×			×
	WS12RS(2019DG)	○			○			×			×			×			○			○	
	バンドル	WS19S	○			○			×			○			○			○			○
		WS19D	×			×			○			○			○			○			○
		WS19E	○			○			×			×			×			×			×
		WS19S Add(2/4/16Core)	○			○			×			○			○			○			○
		WS19D Add(2/4/16Core)	×			×			○			○			○			○			○
		WS19SS Add(16/24Core)	○			○			×			×			×			×			×
	メディアキット	WS19S	○			○			○			○			○			○			○
		WS16S	○			○			○			○			○			○			○
		WS16D	○			○			○			○			○			○			○
	OS管理ソフト等	DCAL1/5/10/50/100	○			○			○			○			○			○			○
		UCAL1/5/10/50/100	○			○			○			○			○			○			○
		RSDCAL1/5/10/50/100	○			○			○			○			○			○			○
		RDSUCAL1/5/10/50/100	○			○			○			○			○			○			○
		SQL2019(サーバー/CAL)	○			○			○			×			×			×			×
		SQL2019(4Core)	○			○			○			×			×			×			×
		SQL2019 Add(2Core)	○			○			○			×			×			×			×
		SQL2017	○			○			○			×			×			×			×
		SQL2016	○			○			○			×			×			×			×
		SQL2014	○			○			○			×			×			×			×
SQL 2019 DCAL1/5/10		○			○			○			×			×			×			×	
SQL 2019 UCAL1/5/10	○			○			○			×			×			×			×		
Linux	バンドル	RHEL8.1 (*1)	×			○			○			○			○			○		○	
		RHEL8.0 (*1)	×			○			○			○			○			○		○	
		RHEL7.7 (*1)	×			○			○			○			○			○		○	
		RHEL7.6 (*1)	×			○			○			○			○			○		○	
		RHEL7.5 (*1)	×			○			○			○			○			○		○	
VMware	バンドル	vS6S 1年平日	×			○(*2)			○(*2)			×			×			○(*2)		○(*2)	
		vS6S 1年24時間	×			○(*2)			○(*2)			×			×			○(*2)		○(*2)	
		vS6EP 1年平日	×			○(*2)			○(*2)			×			×			○(*2)		○(*2)	
		vS6EP 1年24時間	×			○(*2)			○(*2)			×			×			○(*2)		○(*2)	
	OS管理ソフト等	vCen6 1年平日	○(*2)			○(*2)			○(*2)			×			×			○(*2)		○(*2)	
		vCen6 1年24時間	○(*2)			○(*2)			○(*2)			×			×			○(*2)		○(*2)	
		vS6 M.2 6.7	×			○			○			×			×			○		○	
		vS6 DSD 6.7	×			○			○			×			×			○		○	
		M.2	×			○			○			×			×			○		○	
		DSD	×			○			○			×			×			○		○	

○:同時手配可 ×:同時手配不可

(\*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(\*2) VMwareのOSオプションに付帯するサポート時間帯と、同一サポート時間帯のSupportDeskを選択した場合のみ同時手配可能

(\*3) 拡張サポートは5年のみ

## システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

・OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下のようになります(機種により選択可能なSupportDeskは異なります)。

Windows用SupportDesk		SupportDesk Standard (Windows Server)			SupportDesk Standard24 (Windows Server)			SupportDesk Standard (Windows Server Standard 仮想化対応)			SupportDesk Standard24 (Windows Server Standard 仮想化対応)			SupportDesk Standard (Windows Server Datacenter 仮想化対応)			SupportDesk Standard24 (Windows Server Datacenter 仮想化対応)		
		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
Linux用SupportDesk	SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年						○	○	○				○	○	○			
		3年	×		×			○	×	×		×		○	×	×			×
		4年						×	○	×				×	○	×			
		5年						×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]		1年									○	○	○				○	○	○
		3年	×		×						○	×	×				○	×	×
		4年									×	○	×				×	○	×
		5年									×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]		3年						○	×	×				○	×	×			
		4年	×		×			×	○	×				×	○	×			×
		5年						×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]		3年									○	×	×				○	×	×
		4年	×		×						×	○	×				×	○	×
		5年									×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]		3年						○	×	×				○	×	×			
		4年	×		×			×	○	×				×	○	×			×
		5年						×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]		3年									○	×	×				○	×	×
		4年	×		×						×	○	×				×	○	×
		5年									×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]		3年						○	×	×				○	×	×			
		4年	×		×			×	○	×				×	○	×			×
		5年						×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]		3年									○	×	×				○	×	×
		4年	×		×						×	○	×				×	○	×
		5年									×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]		5年	×		×			×	×	○				×	×	○			×
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]		5年	×		×				×		×	×	○			×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]		5年	×		×			×	×	○				×	×	○			×
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]		5年	×		×				×		×	×	○			×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]		5年	×		×			×	×	○				×	×	○			×
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]		5年	×		×				×		×	×	○			×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]		5年	×		×			×	×	○				×	×	○			×
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]		5年	×		×				×		×	×	○			×	×	○	

○:同時手配可 ×:同時手配不可

## システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

・OS用SupportDeskとハードウェア用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下ようになります  
(機種により選択可能なSupportDeskは異なります)。

OS用SupportDesk	ハードウェア用SupportDesk	保証延長パック 翌営業日以降訪問修理			SupportDesk/パック Standard (OSサポートなし)			SupportDesk/パック Standard24 (OSサポートなし)			SupportDesk/パック 保守交換ディスク 引渡プラス (OSサポートなし)			SupportDesk/パック 保守交換ディスク 引渡プラス24 (OSサポートなし)		
		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
SupportDesk Standard (Windows Server)	3年				○	×	×				○	×	×			
	4年	×			×	○	×	×			×	○	×			
	5年				×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server)	3年							○	×	×				○	×	×
	4年	×				×		×	○	×			×	○	×	
	5年					×	×	○					×	×	○	
SupportDesk Standard (Windows Server Standard 仮想化対応)	3年				○	×	×				○	×	×			
	4年	×			×	○	×	×			×	○	×			
	5年				×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server Standard 仮想化対応)	3年							○	×	×				○	×	×
	4年	×				×		×	○	×			×	○	×	
	5年					×	×	○					×	×	○	
SupportDesk Standard (Windows Server Datacenter 仮想化対応)	3年				○	×	×				○	×	×			
	4年	×			×	○	×	×			×	○	×			
	5年				×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server Datacenter 仮想化対応)	3年							○	×	×				○	×	×
	4年	×				×		×	○	×			×	○	×	
	5年					×	×	○					×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年				○	○	○				○	○	○			
	3年	×			○	×	×				○	×	×			
	4年				×	○	×	×			×	○	×			
	5年				×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年							○	○	○				○	○	○
	3年	×				×		×	×	×			×	×	×	
	4年					×		×	○	×			×	○	×	
	5年					×	×	○					×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年				○	×	×				○	×	×			
	4年	×			×	○	×	×			×	○	×			
	5年				×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年							○	×	×				○	×	×
	4年	×				×		×	○	×			×	○	×	
	5年					×	×	○					×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年				○	×	×				○	×	×			
	4年	×			×	○	×	×			×	○	×			
	5年				×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年							○	×	×				○	×	×
	4年	×				×		×	○	×			×	○	×	
	5年					×	×	○					×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年				○	×	×				○	×	×			
	4年	×			×	○	×	×			×	○	×			
	5年				×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年							○	×	×				○	×	×
	4年	×				×		×	○	×			×	○	×	
	5年					×	×	○					×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×			×	×	○			×	×	○				
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×				×		×	○			×		×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×			×	×	○			×	×	○				
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×				×		×	○			×		×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×			×	×	○			×	×	○				
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×				×		×	○			×		×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×			×	×	○			×	×	○				
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×				×		×	○			×		×	○	

○:同時手配可 ×:同時手配不可

## システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

ハードウェア用SupportDesk		SupportDesk/バック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス (OSサポートなし)			SupportDesk/バック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検プラス24 (OSサポートなし)			SupportDesk/バック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス (OSサポートなし)			SupportDesk/バック BIOS/ファームウェアアップデート・ 定期点検・保守交換ディスク 引渡プラス 24 (OSサポートなし)		
		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
OS用SupportDesk													
SupportDesk Standard (Windows Server)	3年	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server)	3年	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×
	4年				×	○	×				×	○	×
	5年				×	×	○				×	×	○
SupportDesk Standard (Windows Server Standard 仮想化対応)	3年	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server Standard 仮想化対応)	3年	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	
	4年			×	○	×				×	○	×	
	5年			×	×	○				×	×	○	
SupportDesk Standard (Windows Server Datacenter 仮想化対応)	3年	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server Datacenter 仮想化対応)	3年	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	
	4年			×	○	×				×	○	×	
	5年			×	×	○				×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×
	3年	○	×	×				○	×	×			
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
	3年			○	×	×				○	×	×	
	4年			×	○	×				×	○	×	
	5年			×	×	○				×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	
	4年			×	○	×				×	○	×	
	5年			×	×	○				×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	
	4年			×	○	×				×	○	×	
	5年			×	×	○				×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
	4年	×	○	×				×	○	×			
	5年	×	×	○				×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	
	4年			×	○	×				×	○	×	
	5年			×	×	○				×	×	○	
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○

○:同時手配可 ×:同時手配不可

## 各OSの仮想化機能について

当社サポート可能なゲストOSと各OSの組合せは下表のとおりです。

※各サーバにて使用可能なホストOSはサーバ本体のサポートOSに準じます。

- ・VMwareでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、以下の「富士通がサポートする、ESX / ESXi 各バージョンのゲストOS」をご確認ください。当社ホームページ( <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/> )をご参照ください。
- ・Hyper-VでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、以下の「当社サポート可能なゲストOS」をご確認ください。当社ホームページ( <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/technical/hv/index.html> )

ゲストOS	ホストOS				RHEL7 (Intel64) (KVM)				RHEL8 (Intel64) (KVM)	SLES 12 (x86_64)			SLES 15 (x86_64)	VMware
	WS12 S/D	WS12R S/D	WS16 S/D	WS19 S/D	7.0/7.1	7.2	7.3~7.6	7.7	8.0~	KVM/XEN			KVM/XEN	vS6
	Hyper-V	Hyper-V	Hyper-V	Hyper-V						GA	SP1	SP2~		
Windows	WS19S	x	x	o	o			o(*1)(*2)(*3)	o(*1)(*2)		x		x	o(*7)
	WS19D	x	x	o	o			o(*1)(*2)(*3)	o(*1)(*2)		x		x	o(*7)
	WS19E	x	x	o	o			o(*1)(*2)(*3)	o(*1)(*2)		x		x	x
	WS16S	x	o	o	o	x		o(*1)(*2)(*3)	o(*1)(*2)	x		o(*1)(*2)	o(*1)(*2)	o
	WS16D	x	o	o	o	x		o(*1)(*2)(*3)	o(*1)(*2)	x		o(*1)(*2)	o(*1)(*2)	o
	WS16E	x	o	o	o	x		o(*1)(*2)(*3)	o(*1)(*2)	x		o(*1)(*2)	o(*1)(*2)	o
	WS12RS	o	o	o	o	x		o(*1)(*2)(*3)	o(*1)(*2)		o(*1)(*2)		o(*1)(*2)	o
	WS12RD	o	o	o	o	x		o(*1)(*2)(*3)	o(*1)(*2)		o(*1)(*2)		o(*1)(*2)	o
	WS12RF	x	x	x	x			x	x		o(*1)(*2)		o(*1)(*2)	x
	WS12RE	o	o	o	o	x		o(*1)(*3)	x		o(*1)(*2)		o(*1)(*2)	x
	WS12S	o	o	o	o	x		o(*1)(*2)(*3)	x		x		x	o
	WS12D	o	o	o	o	x		o(*1)(*2)(*3)	x		x		x	o
	WS12F	x	x	x	x			x	x		x		x	x
	WS12E	o	o	o	o	x		o(*1)(*3)	x		x		x	x
	WS08RS (*8)	SP1	SP1	SP1	SP1	x		SP1(*2)(*3)	x		x		x	o
	WS08RE (*8)	SP1	SP1	SP1	SP1	x		SP1(*1)(*2)(*3)	x		x		x	o
	WS08RD (*8)	SP1	SP1	SP1	SP1	x		SP1(*1)(*2)(*3)	x		x		x	o
	WS08RF	x	x	x	x			x	x		x		x	x
	WS08S-32/64 (*8)	SP2	SP2	SP2	SP2	x		SP2(*3)	x		x		x	o
	WS08E-32/64 (*8)	SP2	SP2	SP2	SP2	x		SP2(*1)(*3)	x		x		x	o
	WS08D-64 (*8)	SP2	SP2	SP2	SP2	x		SP2(*1)(*3)	x		x		x	o
	WS08F-64	x	x	x	x			x	x		x		x	x
	WS08RW (*8)	SP1	SP1	SP1	SP1	x		SP1(*3)	x		x		x	x
	WS08W-32/64 (*8)	SP2	SP2	SP2	SP2	x		SP2(*3)	x		x		x	x
	WS08RH	x	x	x	x	x		SP1(*3)	x		x		x	x
	WS08H-32	x	x	x	x	x		SP2(*3)	x		x		x	x
	W10H	x	o	o	o			x	x		x		x	o
	W10P	x	o	o	o			x	x		x		x	o
	W10EN	x	o	o	o			x	x		x		x	o
	W10ED	x	o	o	o			x	x		x		x	x
	W8.1	o	o	o	o			x	x		x		x	o
	W8.1P	o	o	o	o			x	x		x		x	o
W8.1E	o	o	o	o			x	x		x		x	o	
W8	x	x	x	x			x	x		x		x	o	
W8P	x	x	x	x			x	x		x		x	o	
W8E	x	x	x	x			x	x		x		x	o	
W7HP	x	x	x	x			x	x		x		x	o	
W7P/E/U (*8)	SP1	SP1	SP1	SP1			x	x		x		x	o	
WVHB/HP	x	x	x	x			x	x		x		x	o	
WVB/E/U	x	x	x	x			x	x		x		x	o	
WXPPx64	x	x	x	x			x	x		x		x	x	
WXPP	x	x	x	x			x	x		x		x	x	
Linux	RHEL8(Intel64)	x	x	o	o		o	o		x		x	o	
	RHEL7(Intel64)	o	o(*4)	7.2~	7.6~		o	o		x		x	o	
	RHEL6(x86/Intel64)	6.4~	6.4~(*5)	6.7~	x		o	o		x		x	o	
	RHEL5(x86/Intel64)	5.9~	5.9~(*5)	x	x		5.3~	x		x		x	o	
	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)	x	x	x	x		4.8~	x		x		x	x	
	RHEL ES/AS3(x86)	x	x	x	x		x	x		x		x	x	
	SLES 11 (x86_64)	x	SP4	SP4	x(*6)		x	x		SP3, SP4		SP3, SP4	SP3, SP4	
SLES 12 (x86_64)	x	SP1	SP1, SP2	x(*6)		x	x		GA, SP1~		GA, SP1~	GA, SP1~		
SLES 15 (x86_64)	x	x(*6)	x(*6)	x(*6)		x	x	x	GA		GA, SP1	GA		

○: サポート対象(記載のSP/版数内でのサポートとなります) ×: サポート対象外を示す。

- (\*1) KVM/XEN上のWindowsゲストでは、MSCS(Microsoft Cluster Server) / MSFC(Microsoft Failover Cluster)を使用したクラスタ構成はサポート対象外となります。
- (\*2) Linux仮想環境において、ゲストOSにWindows OS をインストールする場合、PRIMERGY本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプション(PY型名)に添付されるインストールメディアは利用できません。別途、パッケージ製品やボリュームライセンス製品のインストールメディアをご使用ください。
- (\*3) 拡張プラスサポートを契約している場合に限りです。
- (\*4) 第2世代仮想マシンを使用する場合、セキュアブート機能を無効にする必要があります。
- (\*5) 第1世代仮想マシンのみのサポートとなります。第2世代仮想マシンは、ハードウェア認証未取得のためサポートされません。
- (\*6) Hyper-V上におけるLinuxサポートの最新情報は当社ホームページ( <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/technical/hv/index.html> )をご確認ください。
- (\*7) VMware ESXi 6.5以降でサポートします。
- (\*8) Windowsに関するSupportDeskでは、マイクロソフト社の延長サポートフェーズ終了から1年間、独自でサポートを継続提供します。マイクロソフト社の延長サポートフェーズについては、以下マイクロソフト社ホームページからご確認ください。マイクロソフト社ホームページ( <https://support.microsoft.com/ja-jp/lifecycle/search> )

## システム構成図で紹介するWeb情報

分類内容	内容/URL
PRIMERGY情報サイト	<a href="https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/">https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/</a>
PRIMERGYコンフィグ(システム構成ツール)	製品ラインナップからモデルを選択し「構成・価格」ボタンからコンフィグに入り、構成部品を選択するだけで、構成リストと価格がExcel形式で出力できます。 <a href="https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/">https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/</a>
ServerView Suite ServerView Suite DVD	システムの構築、制御、最適化、保守、連携を行う、サーバ運用管理の総称です。 <a href="https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/">https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/</a> サーバ運用管理はDVDで提供され、新製品のサポートや不具合修正などで定期的に更新されます。 <a href="https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsdvd/">https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsdvd/</a>
オプション選択指針 SATA HDDの選択・使用条件 USBメモリを必要とする作業	<a href="https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/">https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/</a> <a href="https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/">https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/</a>
OSのサポート情報、動作確認情報 Windows Linux VMware 未サポートOS情報	<a href="https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/">https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/</a> <a href="https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html">https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html</a> <a href="https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/">https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/</a> <a href="https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/products/distribution/free-os.html">https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/products/distribution/free-os.html</a>
ダウンロード	最新のソフトウェア/ドライバやBIOS/ファームウェアがダウンロードできます。 <a href="https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/">https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/</a>
ラック情報	19インチラック関連情報や他社製ラックへの搭載などの情報です。 <a href="https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/">https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/</a>
技術情報 性能情報 消費電力計算ツール	<a href="https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/performance/">https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/performance/</a> <a href="https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/technical/calculate/">https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/technical/calculate/</a>
サポート情報 重要なお知らせ 製品保証ご案内 製品の販売終息と保守終了情報 セキュリティ情報	<a href="https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/">https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/</a> <a href="https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/note/">https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/note/</a> <a href="https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/repair.html">https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/support/repair.html</a> <a href="https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/terminate/">https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/terminate/</a> <a href="http://www.fmworld.net/biz/security/">http://www.fmworld.net/biz/security/</a>
サービス情報 運用・保守サポート SupportDesk(PRIMERGY) ハードウェア組み込みサービス インフラ基本導入サービス	<a href="https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/supportdesk.html">https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/supportdesk.html</a> <a href="https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/service/hard-builtin/">https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/service/hard-builtin/</a> <a href="https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/service/infra-basic.html">https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/service/infra-basic.html</a>
マニュアル	ServerView Suite ServerBooks に主要なマニュアルが格納されています。 また、モデル個別マニュアルやオプションマニュアルなどが別途あります。 <a href="https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/">https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/</a>
消耗品、データメディアの購入	LTOテープ、データカートリッジ <a href="https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/products/supply/media/">https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/products/supply/media/</a>

## PRIMERGY 留意事項編 更新履歴

版数	日付	更新箇所	更新内容
50版	2020/2/25		2月エンハンス内容の反映
49版	2019/11/1		11月エンハンス内容の反映
48版	2019/7/16		7月エンハンス内容の反映
47版	2019/5/10	メモリの動作モードについて	■RX2530 M5/RX2540 M5の場合、■RX4770 M5の場合 ランクスベアリングモードの【メモリ使用可能容量】を修正 インディペンデントチャネルモード、ランクスベアリングモード、ミラードチャネルモードの説明を修正 ■CX2550 M5/CX2560 M5の場合 ランクスベアリングモードを追加 インディペンデントチャネルモード、パフォーマンスモード、ミラードチャネルモードの説明を修正
46版	2019/4/3		4月エンハンス内容の反映
45版	2019/1/29		1月エンハンス内容の反映
44版	2018/12/18		12月エンハンス内容の反映
43版	2019/1/29		1月エンハンス内容の反映
42版	2018/12/18		12月エンハンス内容の反映
41版	2018/7/31		7月エンハンス内容の反映
40版	2018/6/12	メモリの動作モードについて	RX4770 M4 Mirror Mode時DIMM搭載位置の修正
39版	2018/5/24	メモリの動作モードについて	RX2530 M4/RX2540 M4 Mirror Mode時DIMM搭載位置の修正
38版	2018/4/3		4月エンハンス内容の反映
37版	2018/2/14	メモリの動作モードについて	■RX2530 M4/RX2540 M4の場合、■RX4770 M4の場合のランクスベアリングモード 【メモリ使用可能容量】および【DIMMの搭載位置】を修正
36版	2018/1/30		1月エンハンス内容の反映
35版	2017/12/4		Red Hat Enterprise Linux 7.2媒体バンドルを削除(販売終了)
34版	2017/11/2		11月エンハンス内容の反映
33版	2017/8/29		8月エンハンス内容の反映
32版	2017/7/12		7月エンハンス内容の反映
31版	2017/5/30		5月エンハンス内容の反映
30版	2017/4/11		4月エンハンス内容の反映
29版	2017/2/8		2月エンハンス内容の反映
28版	2016/11/28	表「NetVault Backup for Windows対応表」 表「NetVault Backup for Linux対応表」  表「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて」  表「各OSの仮想化機能について」	NetVaultBackup 8.6およびNetVaultBackup 8.6.3を削除  Windows Server 2016 Essentials インストール、Windows Storage Server 2016 Standard(2CPU/2VM) インストール、Windows Server 2016 Standard メディアキットを追加 Windows Server 2016 Standard Additional Licenseの手配可能数を変更 VMwareとMicrosoft SQL Serverを同時手配可能に変更 SupportDesk Standard/Standard24(Windows Server Datacenter 仮想化対応)とメディアキットを同時手配可能に変更  VMwareのゲストOSとして、WS16S/WS16D/WS16Eをサポート
27版	2016/10/17		10月エンハンス内容の反映
26版	2016/8/2		8月エンハンス内容の反映
25版	2016/7/8	セキュリティチップ(TPM)およびインテル トラステッド・エグゼ キューション・テクノロジー(インテル® TXT)のサポートについて	セキュリティチップの型名修正
24版	2016/6/7		6月エンハンス内容の反映
23版	2016/4/4		4月エンハンス内容の反映
22版	2015/12/22		12月エンハンス内容の反映
21版	2015/8/28		8月エンハンス内容の反映
20版	2015/7/3	表「サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)に ついて」	サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)についての注記追加
19版	2015/6/12	表「サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)に ついて」  表「バックアップ装置関連事項」  表「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み 合わせについて」  表「各OSの仮想化機能について」	サーバ監視・管理ソフトウェア(ServerView Suite)についての内容変更  Netvault Backup 8.5、8.5.2の削除 Backup Exec 15追加  VMware vSphere Hypervisor 6.0用 USB Flash モジュールの型名修正  VMware vS6とRHEL5(x86/Intel64) の組合せを変更
18版	2015/5/7		5月エンハンス内容の反映
17版	2015/4/2		4月エンハンス内容の反映
16版	2015/2/12		2月エンハンス内容の反映
15版	2015/1/16		1月エンハンス内容の反映
14版	2014/12/9	メモリ関連事項	ミラードチャネルモードの対象機種にRX200 S8を追加
13版	2014/11/18		11月エンハンス内容の反映
12版	2014/9/9		9月エンハンス内容の反映
11版	2014/8/21		8月エンハンス内容の反映
10版	2014/7/22	メモリ関連事項	ミラードチャネルモードの対象機種からRX200 S8を削除
9版	2014/5/12		5月エンハンス内容の反映
8版	2014/1/9		1月エンハンス内容の反映
7版	2013/11/5		11月エンハンス内容の反映
6版	2013/9/11		9月エンハンス内容の反映
5版	2013/7/3	Windows関連事項	Windows関連事項の内容見直し
4版	2013/5/8	内蔵ストレージ関連事項	<構成規則について> の(5)の表に、SASアレイコントローラ拡張ボード[PYBSRD081A]を追加、 およびSASアレイコントローラ拡張ボード[PY-SRD08]の記載位置を修正
3版	2013/4/23		4月エンハンス内容の反映
2版	2013/1/22		1月エンハンス内容の反映
初版	2012/10/17		新規作成